

# 天声教会 1部日本語礼拝 週報

〒231-0058 神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通り公園 I -201  
TEL/FAX 045-326-6211

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

賛美	ホザナ
御言葉	ルカ2:10
霊の祈り	
使徒信条	会衆一同
交読文	
祈り	川合姉妹
メッセージ	放蕩息子(ルカ15:11-32)
祈り	
賛美	ぼくのたからもの
主の祈り	会衆一同
報告	

## 祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、囚われの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように:礼拝準備、賛美リード、奏楽

## 御言葉

あなたがたは今まで、何もわたしの名によって求めたことはありません。求めなさい。そうすれば受けるのです。それはあなたがたの喜びが満ち満ちたものとなるためです。(ヨハネ 16:24)

終わりに、兄弟たち。喜びなさい。完全な者になりなさい。慰めを受けなさい。一つ心になりなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神はあなたがたとともにいてくださいます。(2コリ13:11)

# 天声教会 1部日本語礼拝 週報

〒231-0058 神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストークタワー大通り公園 I -201  
TEL/FAX 045-326-6211

## 礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

賛美	ホザナ
賛美	モア・ザン・イナフ
霊の祈り	
使徒信条	会衆一同
交読文	47
祈り	
メッセージ	御心を求める(マルコ11:12~14、20~25)
祈り	
賛美	満たしてくださる方
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	メッセンジャー
報告	

## 祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、囚われの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように:礼拝準備、賛美リード、奏楽

## 祝福の御言葉 下線を自分にあてはめて祈りましょう

どうか父が、その栄光の豊かさに従い、御霊により、力をもって、あなたがたの内なる人を強くしてくださいますように。こうしてキリストが、あなたがたの信仰によって、あなたがたの心のうちに住んでいてくださいますように。また、愛に根ざし、愛に基礎を置いているあなたがたが、すべての聖徒とともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになり、人知をはるかに越えたキリストの愛を知ることができますように。こうして、神ご自身の満ち満ちたさまにまで、あなたがたが満たされますように。どうか、私たちのうちに働く力によって、私たちの願うところ、思うところのすべてを越えて豊かに施すことのできる方に、教会により、またキリスト・イエスにより、栄光が、世々にわたって、とこしえまでありますように。アーメン。(エペソ3:16-21)

## メッセージ(礼拝説教)概要

マルコ11:12~14、20~25 いちじくの木を呪う

福音書の中では、病を癒したり悪霊を追い出したり等、イエスの祝福の奇跡は多く見るが、呪いの奇跡を行ったのは、このいちじくの木のみである。いちじくの季節ではなかった、とあるので、実が無いのは当然でありイエスが呪った行動は、粗暴とも見られる。なぜイエスはそのような行動を取ったのか。詳しく見てみたい。

いちじくは年に2回実を結ぶ。冬の収穫は6月、夏の収穫は9月頃であるが、そのまま落果せずに越冬しサイズを増すものもある。イエスは、冬になってもしっかりと結びついている実を探していたと思われるが、この木は、いちじくの葉ばかりに覆われていて、実は無かった。いちじくの葉といえば、創世記3:7にて人が自分の考えで取り繕った場面を思い出す。人の取り繕いに覆われ、イエスの食物となる実のない木は、呪われてしまうのだ。イエスの食物とは何か。ヨハネ4章を開きたい。

34節によると、父の御心を行ってそのわざを為す事がイエスの食物である。また35節では、まだ刈入れの時期ではないと言っている弟子達に、既に刈入れの時期が来ている事を弟子達に述べている。人の考えている収穫の時期と、主の収穫の時期とは、違うのである。しかも、「種をまいて育てる」という労苦は、既に主が為してくださっておられる。(38)

御心とは人が勝手に考え出す事ではなく、主から一方的に与えられるものであり、御心を求めるには、自分を降ろし、父に求める事である。主でさえ、自分の心ではなく父の御心が成るようにと求めた。(マタ26:39) 神の御心を行う人こそ、イエスの兄弟、姉妹、また母である。(マルコ3:35) 御心を行わず自分のわざを行う者は、いくら「主よ、主よ」と言ってもイエス様に「知らない」と言われてしまう。(マタイ7:21)

主の御心に沿った祈りは、人の繕いや欺瞞に満ちた木を枯らし、立ちほだかる山を海へ動かす。(マルコ11:22-) 主は、人が清く健やかになる事を、望んでおられる。その主の御心を盾に取り、私達の癒し、健やかさを祈りもとめたい。

And behold, a leper came and worshiped Him, saying, "Lord, if You are willing, You can make me clean."  
Then Jesus put out His hand and touched him, saying, "I am willing; be cleansed."  
Immediately his leprosy was cleansed. マタイ8:2, 3

# 天声教会 1部日本語礼拝 週報

〒231-0058 神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストークタワー大通り公園 I -201  
TEL/FAX 045-326-6211

## 礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

霊の祈り	Faith97 vil2 #7
賛美	復活
賛美	何という愛
使徒信条	会衆一同
交読文	62
祈り	
メッセージ	復活(マルコ16:1~7)
祈り	
賛美	何という愛
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	メッセンジャー
報告	

## 祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、囚われの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように:礼拝準備、賛美リード、奏楽

## 祝福の御言葉 自分にあてはめて祈りましょう

あなたがたはバプテスマによってキリストと共に葬られ、また、キリストを死者の中からよみがえらせた神の力を信じる信仰によって、キリストと共によみがえらされたのです。(コロサイ2:12)神は、私たちを暗やみの圧制から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。(コロサイ1:13)

私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が、この世に生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。(ガラ2:20)大切なのは、新しく創造されることです。わたしは、イエスの焼き印を身に受けています。(コロサイ6:14,15,17)

## メッセージ(礼拝説教)概要

### 復活(マルコ16:1~7)

イースターはキリストが復活された日で、それを祝う日である。イエスは金曜日に十字架で死なれ、翌日の安息日を1日置き、その翌日である日曜の朝、復活された。その朝、女達がイエスの遺体の手入れをしようとして、墓に行ったが、ある心配をしていた。それは、封印されている重い石を如何にするか、という事。しかしその重い石はどかさされ、封印は砕かれており、イエスの遺体は無かった。

復活とは、人知をはるかに超える出来事であり、人間の様々な努力の無駄が露にされる。大きな石をどうやって転がそうかという心配も、朽ちていくスピードを薬などで留めようとする努力も、イエスの体を盗まないように兵士が見張る努力も、全て、無駄な努力となる。イエスは、死人の中にはおられない。生きておられるから。私達が日曜(主日)ごとに集まって礼拝するのは、イエスの復活を祝うためである。

「イースターエッグ」の起源には色々な説があるが、卵が象徴するものは墓と復活である。卵は石ころのような物体のように見えるが、内側にはいのちが宿っている。卵はどれも暖めれば必ず生まれるというものではなく、受精したものだけが生まれる。神の種が入っている者こそ、新しく生まれる事ができるのである。(1ヨハネ3:9)人にみことばという神の種が蒔かれ、その人が信仰によって自身と混ぜ合わせる時、復活の新しいいのちが生まれる。そのように受精した卵は、ある時硬い殻を破って新しいいのちが生まれ、母鳥はその雛を翼の下に覆い、成長するまで守る。

先日このイースターエッグを作った時、ここに集う聖徒一人一人の名前を挙げ、復活の祈りを込めつつ一つ一つ鍋に入れて行った。誰々の、何々という状態から、何々という復活が生まれますように。そう言いながら、卵を一つ一つ鍋にいれていく。奉仕中の遊び心かもしれないが、一つ一つ鍋に入れていく度に喜びに溢れていった。

御霊の実とは愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です(ガラテヤ5:22)

無関心から愛が、憂いから喜びが、不安から平安が、不寛容から寛容が、冷淡から親切が、悪意から善意が、不実から誠実が、厳格から柔和が、不品行から自制が、復活として現れるように祈りたい。

## 前夜祭 式次第

黙祷	会衆一同
開式宣言	
祈祷	司式者
賛美	549 番 わが祈り
祈祷	司式者
聖書	第1コリント15章 50-58 節
メッセージ	司式者
祈祷	
賛美	338 番 よるべなきわれは
祝福の祈り	司式者
報告	

### 告別式のご案内

日時: 2010年4月13日 12時

会場: セレモニーホール牛久齊場  
茨城県牛久市中央5-3-1

JR 常磐線牛久駅下車。改札を右に行き、右側の階段を降り、線路沿いに直進。  
突当りを右折、踏み切りを渡り、すぐ左折。300m程行った右側。  
牛久駅から徒歩6~7分。

12時から14時まで告別式を行い、その後移動して15時に火葬となります。

ヨハネ11:25

わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。

金海烈兄弟のご遺体は現在茨城にあり、明日火葬される予定ですが、私達の信じる所では、彼は今、茨城ではなく、天において、いのちの主であるイエスキリストの元で安らぎを得ているものである。

また、イエスを信じた者は必ず朽ちないものを着、死は勝利に飲まれることが、第1コリント15章にて約束されている通りである。

そのように、イエスにある者には、死は復活の望み、新しい命の目覚めという希望がある。

しかし私達残された者には、親しい人の死は、「なぜ」という問いと、神は無力である、という思いさえ生み出す。聖書・ヨハネ 11 章を見たい。

イエスはラザロを愛していたのに、彼が病氣だと聞いてすぐに行く事はせず、なお2日滞在され、彼らがベタニヤに到着した頃、ラザロは葬られ既に4日経っていた。

マリヤは足元に崩れて泣き、「主よ、もしここにいてくださいましたら、わたしの兄弟は死ななかつたでしょうに」と言った。

イエスも泣き、心に憤りを覚えられた。

イエスがもっと早く行って癒してあげていれば、、、彼らはこんな悲しい思いをする事無く、イエスが愛しておられたラザロも死の苦しみをする事無く、イエスご自身も、泣いたり憤ったりする事無く、済んだらうに。

周りにいた人も「盲人の目を開けたこの人も、ラザロが死なないようににはできなかったのか」と言った。

人は考える。主は非力である。彼の苦しみを早く除いてくれない主は、間違っている。

私にこんな悲しい思いをさせる主は、間違っている。等等。

結果的にはラザロは蘇らされるのだが、なんでこんな回りくどい方法を取られたのか。

もし、すぐ行ってインスタントに、癒していたなら、主がよみがえりであり、いのちであり、彼を信じる者は、死んでも生きる事を、体験として知り得なかつただろう。

そこでイエスは、はっきりと言われた。「ラザロは死んだのだ。わたしがその場に居合わせなかつたのは、あなたがたにとってよかつた。あなたがたが信じるようになるためである。」(ヨハネ11:14)

私たちがイエスを信じるようになる事が死ぬほど大事だから、イエスはあえて愛する者の苦しみを許され、あえて、回りくどいような方法をとられる。

それは、私達の最善を知るのは、この天地を創り、私達を創られた神であるから。

イエスは、苦しみの中にいる私たちと共に涙を流してくださいただでなく、

ご自身が私達の身代わりとなって罪と死を一身に負われ、最終的に私たちを罪と死から解放して下さるのだ。

# 天声教会 1部日本語礼拝 週報

〒231-0058 神奈川県横浜市中区弥生町 2-17 ストークタワー大通り公園 I -201  
TEL/FAX 045-326-6211

## 礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

霊の祈り	Faith97 vil2 #7
賛美	復活
賛美	何という愛
使徒信条	会衆一同
交読文	40
祈り	
メッセージ	恵みを拾う(ルツ記)
祈り	
賛美	イエスは愛で満たす
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	メッセンジャー
報告	

## 祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽

## 祝福の御言葉 自分にあてはめて祈りましょう

わたしは、あなたのはしためルツです。どうぞあなたの衣の裾を広げて、このはしためを覆ってください。あなたは家を絶やさぬ責任のある方です。」(ルツ 3:9 新共同約)  
恐れるな、もはや恥を受けることはないから。うろたえるな、もはや辱められることはないから。若いときの恥を忘れよ。やもめのときの屈辱を再び思い出すな。あなたの造り主があなたの夫となられる。その御名は万軍の主。あなたを贖う方、イスラエルの聖なる神／全地の神と呼ばれる方。(イザヤ 54:4,5)  
「シオンよ、恐れるな／力なく手を垂れるな。お前の主なる神はお前のただ中におられ／勇士であって勝利を与えられる。主はお前のゆえに喜び楽しみ／愛によってお前を新たにし／お前のゆえに喜びの歌をもって楽しまれる。」(ゼパニヤ:16,17)

イスラエルが罪を犯して飢饉になった時、エリメレク一家は「食料が無い」という懲らしめから逃れるため、異邦人の国モアブへ食料を求め出て行った結果、エリメレク自身と、息子2人までも異邦の地で骨を埋める事となる。  
ナオミは絶望と悲しみの中、食料のために主の民を捨てて出て行った家の恥を忍びつつ、ユダの地へ戻る事を決心した。

ルツはイスラエルには好かれぬモアブの女であるし、ナオミについて行く事にはメリットは何も無いにもかかわらず、「あなたの民は私の民、あなたの神は私の神です。」(1:16)と言ひ、イスラエルの神と律法の憐れみに信頼してついて行く事を決心する。  
ルツは信仰の模範のような女性であるが、彼女に信仰を継承したのは、ナオミである。ナオミは「私をナオミと呼ばないで、マラ(苦み)と呼んでください。」(1:20,21)と言った。従うべき夫の誤った判断についていった事によって苦い思いをしたかもしれないが、主は忠実なこのやもめ達を、苦々しい思いのまま置かれるのだろうか？

ルツは落ち穂を拾いに畑へ出て行くが、行った先は「はからずも」エリメレクの一族に属するボアズという有力者の畑であった。  
結論から言えばルツはこのボアズと結婚し、そのひ孫にダビデが生まれ、さらにその28代後にはキリストが生まれる。  
人の目から見れば「はからずも」であるが、神はこのようにして頼る者を確実に導いて下さり、さらには王族の家系、キリストを生み出す栄光の家系へと加えてくださるのである。

ボアズは私達を買い取ってくださるイエスキリストの雛型である。  
この世の営みは、落ち穂を拾うようなものであるが、イエスは周りの者に、じゃまをしないようきつく命じ(2章9)て下さり、若者が汲んだ水を飲んで良いようにして下さる。(同)私達が尽くした真実をしっかりと覚えていて下さり(11)、翼の下に避け所を求めてきた主から報いがあるよう、執り成して下さり(12)、苦い思いをしてきた私達を、慰めて下さる。さらには、私達に恥ずかしい思いをさせる事を許さず(15)、それだけでなく束からわざと穂を抜き落として、私達に拾わせて下さる。(16)  
私たちは神の国にいる限り、恵みは落穂のように必ず落ちていく。  
恵みが落ちていけば、頭であれこれ判断したり口で論じる事はしないで、ただ低くかがみ、ありがたくいただき、家族へ持ち帰るのみである。  
苦い水にはイエスの十字架という木を投げ入れ、甘くする事ができる。(出エ 15:22-25)

ルツは「わたしは、あなたのはしためルツです。どうぞあなたの衣の裾を広げて、このはしためを覆ってください。あなたは家を絶やさぬ責任のある方です。」(ルツ 3:9 新共同約)とボアズに迫り、彼はいてもたってもいられなくなった。  
私達もそのように主に申し上げる時、主はいてもたってもいられずに私達を衣の内に覆い、買い戻して下さるのである。

# 天声教会 1部礼拝 週報

〒231-0058 神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストークタワー大通り公園 I -201  
TEL/FAX 045-326-6211

## 礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

賛美	救いの岩
賛美・霊の祈り	None can Compare
使徒信条	会衆一同
交読文	44
祈り	
メッセージ	栄光の家系の女達 - タマル(マタイ1:1-6)
祈り	
賛美	あわれみあふる
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	メッセンジャー
報告	

## 祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように:礼拝準備、賛美リード、奏楽

## 祝福の御言葉 自分にあてはめて祈りましょう

あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。  
あなたがたは、以前は神の民ではなかったのに、今は神の民であり、以前はあわれみを受けない者であったのに、今はあわれみを受けた者です。(I ペテロ2:9,10)  
「生めよ。ふえよ。地を満たせ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地をはうすべての生き物を支配せよ。」(創世記1:28)

## メッセージ(礼拝説教)概要

マタイ1章はキリストの王族の系図で始まるが、名を連ねている女性が4人いる。前回はルツを詳しく見たので、今回タマルについて見ていきたい。

創世記37章以降はヤコブの子ヨセフをメインに話が展開するが、タマルの物語は38章に唐突に挿入されている。しかも、普通の人間が読めば眉をひそめるような話である。神の摂理からすれば、タマルの物語は決して省く事はできないので、今回、人の行為の善悪は置いておき、永遠の王国を成就させる神の摂理の視点に立って見ていきたい。

ユダはカナン人の女シュアと結婚し、3人の息子を生んだ。長子エルの子としてタマルを迎えるが、彼は主を怒らせていたので、彼は死んだ。次男オナンは子を生まうとしない事によって主を怒らせたので、彼も死んだ。(38:6~10)ユダは3男シェラが成人するまでやもめのままだるようにタマルに指示するが、シェラも兄達のように死ぬといけなないと思ひ、彼が成人しても結婚させないままだ。シェラも主を怒らせるような要素があったのかもしれない。

あたかも呪われた家族のようであるが、栄光の家系において「生めよ、増えよ」という祝福の命令に逆らうのは罪である。タマルは二人の夫を亡くす経験を通して、神を恐れる事、ユダの獅子たる家を絶やしてはならない事の大切さを学んでいたようにも見える。

何とかして子を産まなくては、という一心で、彼女はやもめの服を脱いで遊女の格好をしてユダの前に現れ、ユダはそれと知らずにタマルのところに入り、タマルはみごもる。3ヵ月後、タマルが売春をして身ごもった事がユダに知れ、ユダは彼女を焼き殺すように命じるが、彼女はしるしとして受け取っていたユダの印形とひもと杖を示し、ユダ自身によって子を宿した事を訴えた。

ユダは大切にすべき印形とひもと杖を見て、遊女の報酬のしるしとしてそれらを一時的に手放した事、シェラを失う事を恐れて彼女にシェラを与えなかった事、栄光の家系を生み出す事を怠っていた事を悔い、「あの女は私よりも正しい」(26)と言った。ユダの目から見ればタマルこそ死に値する罪があるとはじめ思ったが、自分達の「子を生まうとしない」事こそ罪であった事を知るのである。

結局キリストの栄光の系図を継いだのは、カナン人の女による三人の子のいずれかからではなく、ユダ自身とタマルとによって生まれた双子からであり、その双子のうちの本来弟になるはずだったペレツからである。ペレツも本来兄になるはずだったゼラフを出し抜いたからこそ、栄光の家系に加えられた。キリストの購いによって選ばれた種族とされ、王である祭司とされ、聖なる国民とされ、神の所有とされた私達は、大いに増えるべきである。

## 天声教会 1部礼拝 週報

〒231-0058 神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストークタワー大通り公園 I -201  
TEL/FAX 045-326-6211

### 礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉と霊の祈り	Faith97 vol2 #7
賛美	頼れる主(Faith97 vol2 #8)
使徒信条	会衆一同
交読文	44
祈り	
メッセージ	栄光の家系の女達 - ラハブ(ヨシュア記2章)
祈り	
賛美	聖なる火(Faith97 Vol.1 #7)
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	メッセンジャー
報告	

### 祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽

### 祝福の御言葉 自分にあてはめて祈りましょう

あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。あなたがたは、以前は神の民ではなかったのに、今は神の民であり、以前はあわれみを受けない者であったのに、今はあわれみを受けた者です。(I ペテロ 2:9,10)

もし神がわたしたちの味方であるならば、だれがわたしたちに敵対できますか。

わたしたちすべてのために、その御子をさえ惜しまず死に渡された方は、御子と一緒にすべてのものをわたしたちに賜らないはずがありませんか。(ローマ 8章)

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。(マタイ 7章)

ラハブは遊女であり、自分の身を売りつつ城塞の町エリコで生活していた。好んで売春婦になる女性はいないし、子供が将来なりたいと思うような職業でもない。彼女も裕福な家に生まれた訳ではないし、特殊な能力や外見を持っているわけでもない。城壁の壁を利用した粗末な家で生活し、来る日も来る日も、欲望に駆られた男達に体を差し出しては報酬を得、それを家族の元に持っていくという生活をしていた。色々な男達が彼女の元に来ては去って行ったが、生活が良い方向に変わっていく訳ではないし、彼女の仕えていた神も、良い影響を及ぼしてくれた訳でもない。そんな中、彼女はある不思議な民族のうわさを聞いていた。その民族は神の民と呼ばれ、海の中を渡り、エジプトを滅ぼし、水も食物も無い荒野で40年もの間超自然的に養われて増え、川向こうの強力な王達を滅ぼしたという。

そんなある日、二人の男が彼女の所に訪れた。その男達は今まで出会った男達の誰とも違って、分別と秩序があり、遊ぶためというより、何か任務を負っているようであったので、直感的に、この者達こそ神の民だと悟った。その者達を捕らえる為に兵士達が戸を叩いた時、彼女はとっさに、どうしたか。彼女は彼らをかきまい、あわよくば神の民に加わって生き延びようという判断を下し、急いで屋上に連れて行き、穂の束の間に隠し、しかも危機が去った後、彼らと交渉をする。彼らは真っ赤な紐の目印を家の窓につけておき、その中でじっとしているよう指示する。彼女は、「お言葉どおりにいたしましょう」と言って、その通り行動した。エリコは実際にその後、滅ぼされる。

7人の祭司が7日間、その町の周りをめぐり、7つの角笛が鳴り響いた時、城壁は崩れ、赤い印の内側にいた少数の人々は、かの2人の男によって安全な所へと導かれた。世の終わりの時も、同じ事が起こる。御使いが7つのラッパを吹き鳴らす時、この世のものは火によって終わり、新しい天地が現れ、自分が築いてきた城壁に頼ってきた者達は、その城壁に押しつぶされ、木や草、藁で立てられた家は焼かれ、金銀で作られた器だけが残る。神の民のうわさを聞いた時、彼らを受け入れ、自分の救いを交渉した者は幸いである。7つのラッパが鳴り響く前に、イエスの血という赤い印の内側に逃れていない者は滅ぼされ、赤い印の内側にいた者は御使いによって安全な所へと導かれるのである。

ラハブは後にサルモンという男性と結婚し、ボアズ、すなわちルツの夫を生む。ラハブの義理の娘がルツであるという事実は意外と知られていないが、それはヨシュア記とルツ記の間の士師記、すなわち、好き放題しては罰を受ける世情のどさくさの為だ。恐らくラハブは息子のボアズを育てる際、外国人であり、しかも遊女であった自分が、如何に救われ、信仰を堅く守る事が如何に大切であるかを、教育してきたことだろう。それだから、ボアズは神様に祝福され有力者となり、モアブ人ルツに優しく対応し、ついにはルツとボアズは結婚したのである。私達は、世のどさくさ、神の民のどさくさは置いておいて、信仰の家系を静かにしっかりと守り、築いていきたいものである。

# 天声教会 1部礼拝 週報

〒231-0058 神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストークタワー大通り公園 I -201  
TEL/FAX 045-326-6211

## 礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

賛美	何という愛 (Faith97 vol2 #3) 18
霊の祈りと御言葉	Faith97 vol2 #4
賛美	復活 (Faith97 vol2 #2) 19
使徒信条	会衆一同
交読文	15
祈り	
メッセージ	栄光の家系の女達 - ウリヤの妻(Ⅱサムエル 11章)
祈り	
賛美	復活 (Faith97 vol2 #2) 19
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	メッセンジャー
報告	

## 祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽

## 祝福の御言葉 下線を自分にあてはめて祈りましょう

神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方にあつて、神の義となるためです。だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。(2コリント 5:17,21)  
こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。なぜなら、キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです。肉によって無力になったため、律法にはできなくなっていることを、神はしてくださいました。神はご自分の御子を、罪のために、罪深い肉と同じような形でお遣わしになり、肉において罪を処罰されたのです。(ローマ 8:1-3)  
教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。(エペソ 1:23)

ダビデ王の部下が皆戦争に出ているある夕刻、彼自身は昼寝から覚めて宮殿の屋上を散歩していると、大層美しい女が水浴びをしているのを見つけた。(Ⅱサムエル 11章) 彼女がマタイ1章の系図4番目の女性、今回主題とする、ウリヤの妻バテ・シェバである。ダビデは情欲にかられ、彼女がウリヤという夫ある身であることを知りながら床を共にし、そのたった一度の情事によって彼女は身籠った。

それを知ったダビデは、忠実な部下である夫ウリヤを謀殺し、彼女を妻にした。主が預言者ナタンを通してダビデの罪を指摘した時、彼はへりくだって自分の罪を認め、主に赦されたが、その子は主に打たれて、ダビデも生涯、剣の災いに悩まされた。

あの輝かしい実績を残したダビデでさえ、この一夜の情事によって汚点を残してしまった。ダビデは隠れてこの事を行い、絶大な権力と謀略をもって自分のした事を隠蔽しようとしたが、隠れているものであらわにならぬものはなく、結局は主の光に当てられ、永遠に残る書・聖書に記されてしまった。(ちなみにウリヤはヘブル語で「主の光」の意)

今まで取り上げて来た三人は信仰によって行動した結果、栄光の家系に加えられたが、バテ・シェバ自らは特に何もしていない。なぜ彼女が栄光の家系に名を残したのか。ダビデには正しい手続きを踏んで結婚した妻がたくさんいたのに、なぜよりによって、唯一、正しくない手続きによって妻となった「ウリヤの妻」による子が選ばれたのか。

ダビデは確かに罪を犯した。しかし、彼が罪を認めて告白し、赦しを乞うた(詩篇51)からこそ彼は赦され、罪をきよめられたのである。詩篇51:7のヒソブは、過越祭にてほふられた子羊の血を塗るのに使われており、ダビデは罪なき者の犠牲によって生き長らえた。わざわざ「ウリヤの妻」による子が選ばれたのは、人には罪がある事を思い起こさせるためであり、それを超えた神の憐れみを一層思い起こさせるためであると思われる。

ダビデの罪が永遠に記されたように、私達の犯してきた罪も、永遠の記憶に残る。ラザロを憐れまなかつた金持ちは地上での事を思い出して永遠に後悔し(ルカ 16)、黙示録に登場する24人の長老は冠を御座の前に投げ出して「主こそ栄光と誉れと力を受けるにふさわしい方」であると告白するのはそのためである。(黙示録 4:10)しかし、イエスを信じた私達の記憶の中にある罪は、神の御前では無いものとして扱われている。イエスはただ一度、罪の為に死なれ、流された血によって罪は覆われたから。人間が唯一作った永遠に残るものといえば、イエスの手、足、脇腹の傷跡のみである。その事を知る時、神の前で、人はとても冠などかぶったままではいられない。ほふられた子羊、主こそ、唯一栄光と誉れを受けるにふさわしい方だ。

「ダビデ(最愛、愛された者)に、ウリヤ(主の光)の妻(バテ・シェバ(誓いの娘、安息日の娘))によってソロモン(平和、最も平穏な)が生まれ」(マタイ 1:6)系図の中のこのくだりを読む度に、人間の罪深さと神の深い憐れみ、キリストの血の尊さを思い出すのである。

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

霊の祈りと御言葉	ルカ1:46-55
賛美	我が主、偉大な力 (Faith03 vol1 #1) 95
賛美	叫べ 喜べ (Faith03 vol1 #2) 96
賛美	救いの岩 (Faith03 vol1 #3) 97
使徒信条	会衆一同
交読文	57
祈り	
メッセージ	栄光の家系の女達 - マリヤ(ルカ1章)
祈り	
賛美	わが魂たたえよあまつみ神を (Faith03 vol1 #7) 100
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	メッセンジャー
報告	

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽

祝福の御言葉 下線を自分にあてはめて祈りましょう

「神にとって不可能なことは一つもありません。」  
マリヤは言った。「ほんとうに、私は主のはしためです。どうぞ、あなたのおことばどおりこの身になりますように。」(ルカ 1:37,38)

私たちは、この宝を、土の器の中に入れていたのです。それは、この測り知れない力が神のものであって、私たちから出たものでないことが明らかにされるためです。

私たちは、四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方にくれていますが、行きづまることはありません。

迫害されていますが、見捨てられることはありません。倒されますが、滅びません。いつでもイエスの死をこの身に帯びていますが、それは、イエスのいのちが私たちの身において明らかに示されるためです。(2コリント4:7-10)

だれでも行き過ぎをして、キリストの教えのうちにとどまらない者は、神を持っていません。その教えのうちにとどまっている者は、御父をも御子をも持っています。(2ヨハネ 1:9)

マリヤはカトリックではイエス同様礼拝の対象となっており、絵画や像として取り上げられる事も多いので、偉人あるいは特別な人としてイメージが固まっているかもしれないが、彼女は私達と同じ普通の人、ダビデ王の家系であったものの、片田舎の貧しい一人の娘であった。

彼女はなぜこんな有名になってしまったのかというと、処女であるのにイエスを宿されたから。しかし、マリヤの受胎告知の少し前の、御使いがザカリヤに告知された出来事のほうが、よほどセンセーショナルに見える。(ルカ1:5-23)  
神殿の、年に一度だけしか入れないような、祭儀に間違いを犯せば死ぬような聖域において、御使いに出会い、年老いた妻に特別な子供が生まれる事を告げられ、その上言葉が話せなくなってしまった。  
十分過ぎるほどセンセーショナルであるが、対して、マリヤが御使いに出会った場面はどうか。日常生活のある場面で、いきなり、たった一人で、である。目撃者はなく、最愛の許婚であるヨセフさえ夢で御使いに示されなくては信じられないほどひそかに、無名に。

処女が身籠るといのは、在り得ない事。しかし、信仰によって受け止める時、天地万物を創られた「ことば」なるお方が人に宿るといふ、私達に起きている事は、もっと在り得ない。ありえない事が示された時は、「おことばどおりこの身になりますように」というマリヤのような信仰告白である。  
「在り得ない」ままにしておいては、ありえないままで終わる。

女性が求められているものは、女子力でも婚活力でもなく、ただ「お言葉どおりに従う」従順さであり、マリヤが救い主の母として選ばれたのには、それなりの素養があったからである。マリヤが生きていたのは、婚前交渉を行えば石打にされる時代であり、周囲や親類からの偏見、特に最愛のヨセフからの誤解と戦わなくてはならない覚悟があったかもしれない。タマルのように、死を賭しても子を宿す覚悟を要求された時、また、ラハブのように周囲の偏見と戦いつつ子を育ててゆく覚悟を要求された時、ルツのように、従順に従う事を選んだ。すると、バテ・シェバのように、あれよあれよという間に平和の子供を生み出す事ができる。

神は、神殿の聖なる場所で荘厳な儀式を求められるお方ではなく、日常生活の中でつつましく信仰を育む者を選んで下さる。  
大勢集う聖会の中で、大いなる傲や不思議な出来事を求めておられるのでもなく、ひそかに、無名のままで、主と交わる者を求められる。  
「何によって知ることができましようか」という傲を求めると、ザカリヤのように黙らされてしまう。マリヤのように、「おことばどおりこの身になりますように」と私達も告白する時、ささいな日常の場面場面において神の栄光が現れ、キリストイエスを霊の内に宿す事ができるのである。

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	ヘブル 3:12-4:3
賛美	叫べ 喜べ (Faith03 vol1 #2) 96
賛美	救いの岩 (Faith03 vol1 #3) 97
使徒信条	会衆一同
交誦文	39
祈り	
メッセージ	見えている事と見えていない事ー2(ヨハネ9章)
祈り	
賛美	叫べ 喜べ (Faith03 vol1 #2) 96
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	メッセンジャー
報告	

祈祷課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 奉仕者が与えられるように:礼拝準備、賛美リード、奏楽

祝福の御言葉 自分にあてはめて祈りましょう

福音を説き聞かされていることは、私たちも彼らと同じなのです。ところが、その聞いたみことばも、彼らには益になりませんでした。みことばが、それを聞いた人たちに、信仰によって、結びつけられなかったからです。(ヘブル 4:2)

安息日の休みは、神の民のためにまだ残っているのです。神の安息にはいった者ならば、神がご自分のわざを終えて休まれたように、自分のわざを終えて休んだはずです。ですから、私たちは、この安息にはいるよう力を尽くして努め、あの不従順の例にならって落後する者が、ひとりもないようにしようではありませんか。(ヘブル 4:9-11)

どうか、私たちの主イエス・キリストの神、すなわち栄光の父が、神を知るための知恵と啓示の御霊を、あなたがたに与えてくださいますように。

また、あなたがたの心の目がはっきり見えるようになって、神の召しによって与えられる望みがどのようなものか、聖徒の受け継ぐものがどのように栄光に富んだものか、

また、神の全能の力の働きによって私たち信じる者に働く神のすぐれた力がどのように偉大なものであるかを、あなたがたが知ることができますように。(エペソ 1:17-19)

メッセージ(礼拝説教)概要

イエスに癒された盲人の存在は周囲に大いなる議論と分裂を生み、人々は彼を当時の宗教指導者パリサイ人の所に連れて行ったが、議論は大きくなるばかりで、彼は何度も同じ説明をしなくてはならなかった。(ヨハネ 9:8-34)彼は産まれて初めて味わった「視覚」の感覚を早速存分に楽しめたかという、そうでもない。

すその長い服を着、額に経札をつけ、目を三角にして口から唾を飛ばす大勢のパリサイ人を目の当たりにしながら、ありのままイエスがした事、自分に起こった事を何度も何度も説明する事となる。

パリサイ人が経札の幅を広くしたり衣のふさを長くしたりするのは、人に見せるため(マタイ 23:5)である。なまじ普通の人間なら、威儀を正した外見の者達に畏れを抱くが、癒していただいた盲人は元々外見というものを知らず、人目を気にするという素養も無い。ディペードスキルも無く、素直すぎるほど素直に対応する他なかった。両親の庇いもなく、最後には会堂を追放されてしまうが、逆に幸いて、イエスを主とする事ができた。

パリサイ人の言い分は「イエスが安息日を守らない」だが、何をして良い悪いという「善悪」の路線には矛盾が生じ(マタイ 12:5, ヨハネ 7:22)、その議論に終りは無く、不健全さと多くの「頑張り」がある。対してイエスが示されたのは「いのち」を得、それを豊かにする(10:10)路線であり、健やかさと安息がある。彼らがイエスを反対する根本的な理由は、彼らは人の上に立ち大勢の人たちに注目されたいからで、彼らよりも上に立つ者出てもらっては困るからである。見た目を良くして上に立ち、行動と言葉を駆使して自己を確保したいという欲求のルーツは何だろうか。

創世記 2:9 園の中央には、いのちの木、それから善悪の知識の木とを生えさせた。

創世記 3:7 このようにして、ふたりの目は開かれ、それで彼らは自分たちが裸であることを知った。そこで、彼らは、いちじくの葉をつづり合わせて、自分たちの腰のおおいを作った。

人は、神抜きで自分で善悪判断するという「目」が開かれた結果、裸である事を知り、いちじくの葉によって取り繕いをするようになった。

「いちじくの葉」は自分の裸の恥を覆うものとして歴史の中で進化してゆき、色々な形を取るようになる。カインの時代になると、集団で町を建造する事、農畜や文化、技術開発などによって自己能力を磨く事となり、やられたら何倍にもして仕返すような強い者が生き残る世の中となっていく。(創世記 4:17-26)

パリサイ人達は膨大な言葉を用いた弁論という「いちじくの葉」や、外見の繕いによって自分の裸を隠そうとしたが、真に裸の恥を覆う事ができるのは、主が用意した衣だけである。

この「神抜きの取り繕い」といういちじくの葉は、弱肉強食の世界では大いに通用するものの、神の御前には全く通用しないどころか、大いに有害である。

いちじくの葉はいつの時も主の働きの邪魔をし、人間の好き勝手な「白を黒に、黒を白にする」言葉の議論によってキリストのわざを無いもののようにし、それどころか、キリストの結んだ多くの良き実を傷つけてきた。

主は、そのような人のわざに対して、どのように語られるか。

黙示録 3 章にラオデキヤの教会へのメッセージがあるが、「ラオデキヤ」の意味は民(λαο s)「ラオス」と(δικια)「デキア」の合成語で民の主張(民主主義)と言う意味。

主義主張や能力開発によって多くを手に入れた者は、自分は富んでいる、豊かになった、乏しいものは何も無いと言っているが、実は自分がみじめで、衰れで、貧しくて、盲目で、裸の者であることを知らない。そのような者には金、白い衣、目薬を買うよう薦められているが、火で精練された金は訓練された信仰(I ペテロ 1:7)を、白い衣は子羊の血(黙示録 7:14)を、目薬はイエスによって練られた泥(ヨハネ 9 章)を暗示する。

最初の人アダムは泥に神の息を吹き込まれて創られたが、罪と死が入ってしまった。イエスの口から出た泥によって覆われ、洗われた者こそまことのいのちに与り、信じた者こそ自分のわざを休んで安息に入る事ができるのである。(ヘブル 4 章)

御言葉	詩篇 131 編
賛美	十字架に触れしとき (Faith97 vol2 #1 10)
賛美	復活 (Faith97 vol2 #2) 19
使徒信条	会衆一同
交読文	40
祈り	
メッセージ	聖餐にふさわしい者(1コリント 11:17-32)
祈り	
賛美	何という愛(Faith97 vol2 #3) 18
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	メッセンジャー
報告	

### 祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- ・主に忠実な聖徒達が 30 名以上与えられるように

### 祝福の御言葉 下線を自分にあてはめて祈りましょう

それから、パンを取り、感謝をささげてから、裂いて、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与える、わたしのからだです。わたしを覚えてこれを行ないなさい。」  
食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流されるわたしの血による新しい契約です。(ルカ 22:19,20)

実際、あなたがたは自由へと召されたのだ、兄弟たちよ。ただその自由を、肉へと向かう機会のために用いず、むしろ、愛を通してあなたがたは互いに仕え合いなさい。  
というのも、全律法は一つの言葉において、すなわち、あなたの隣人をあなた自身として愛するであろうとの言葉において、満たされてしまっているからである。しかし、もしもあなたがたが互いに噛み合い、喰い合うとするなら、あなたがたは互いによって滅ぼされないように注意していなさい。  
私は言うが、あなたがたは霊によって歩みなさい。そうすれば肉の欲望を満たすことはないであろう。なぜならば、肉は霊に反して欲し、霊は肉に反して欲するからである。実際、それらは互いに対立し合っており、その結果、欲することを、あなたがたは行なえなくなるであろう。(ガラテヤ 5:13-17 岩波訳)

### メッセージ(礼拝説教)概要

聖餐の際にはパンとぶどう酒をいただくが、そのいきさつと心構えは 1 コリント 11:23 以降にある。来週は聖餐式を行うので、聖餐について少し詳しく学びたい。

聖餐におけるパンはイエスの裂かれた体を意味するが、キリストのからだのもう一つの意味は 1 コリ 12:12 によると教会(呼び出された者達)の一人一人であり、それぞれが違った器官として、調和して機能する事によってキリストのわざをこの世で実現してゆくものである。  
従って劣った器官は覆い、弱い器官は尊ぶべきであって、糾弾し切り離したりするものではない。(12:22-24)  
パンに与る時、キリストの裂かれた体を覚え、聖徒達一人一人を覚えて与るべきである。  
また、ぶどう酒はイエスの流された血を意味し「罪を赦すために多くの人のために流されるもの」(マタイ 26:28)である。  
それ故聖餐の場面でぶどう酒にあずかる時、私達は罪赦されている者である事を覚え、また、いのちの印であり、滅びからの救いであり、罪からの清めの印であるイエスの血を思いつつ与るべきである。

「もし、ふさわしくないままでパンを食べ、主の杯を飲む者があれば、主のからだに血に対して罪を犯すことになります。」(11:29)とあるが、ふさわしい者とはどういう者であろうか。  
今まで主に喜ばれる事をしてきたとか、あの罪この罪を犯さなかった、といった事ではない。もしそうなら、聖餐に与るに相応しい者は誰一人いなくなってしまうし、主は自分を義と自認する者を退けられる。(ルカ 18:9-14)  
重要なキーワードは、24,25 節両方に出てくる「わたし(キリスト)を覚えて、これを行いなさい」である。  
すなわち、兄弟姉妹を「他人」としてあしらうのではなく、キリストのからだの一部として接しているかどうか。また、自分自身も、彼らも罪赦された者である事を、覚えているかどうか。

そもそもなぜパウロは聖餐について詳しく書いたのか、という根拠を、もう少し遡って見てみたい。  
11:17-19 によると、コリントの教会に分裂があった事がわかるが、分裂が起こるのは本当の信者(直訳:試験済みの者)が明らかになるために、止むを得ない。最後の晩餐の時、裏切る者も共に与っていたのである。問題なのは、我先に自分の食事を済ませる者がいた事である。(11:20-22)  
教会は色々な人がそれぞれ持ち寄って互いの必要を満たしあう役割はあるが、ある者は満ちたり、ある者は空腹のまま、という有様は、肉的であれ精神的であれ良くない。  
われ先に自分の空腹を、われ先に自分の心の渇きを、われ先に自分の主張欲を、満足させたい、という行為が、神の教会を軽んじ、貧しい人たちははずかしめる事である。(22 節)

互いにかみ合ったり、食い合ったりしていった靈的な共食い行為をしているなら、お互いの中で滅ぼされてしまい(ガラテヤ 5:13-18)、デリケートなキリストのからだを壊す事になる。  
肉が疼く時は、肉のがんばりによって押さえつけるのではなく、自分を下ろし、信仰によって御霊に働いていただく事である。  
自分の意思によって御霊に明け渡し、御霊が働かれる時、自分の肉の欲する事が、行えなくなるのである。肉の欲求をあくまで肉によって満たそうとし、我先にという主張によって教会を食い散らす結果、「あなたがたの中に、弱い者や病人が多くなり、死んだ者が大ぜいいます」(1 コリント 11:30)という状況になってしまう。

私達は聖餐をする時、まず主の前に自分の身と魂を横たえ、キリストのからだである教会を、赦された者である事を覚えつつ、パンとぶどう酒に与りたい。

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	詩篇 1 編
賛美	いとむととき (韓日讃頌歌242)
使徒信条	会衆一同
交読文	14
賛美	おおくのかむり (韓日讃頌歌25)
メッセージ	決断の時に(エステル記4:12-17)
祈り	
賛美	神はわがやぐら (韓日讃頌歌384)
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	バスター
報告	鄭先生から指示がありました。 第2礼拝は11時ちょうどに始め、その礼拝の司会を林が勤めます。 その間川合姉妹は第2礼拝の時間集会室にて第1礼拝に出席した方々と交わりに加わります。

祈祷課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 奉仕者が与えられるように:礼拝準備、賛美リード、奏楽
- 主に忠実な聖徒達が30名以上与えられるように

祝福の御言葉 下線を自分にあてはめて祈りましょう

あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまるなら、何でもあなたがたのほしいものを求めなさい。そうすれば、あなたがたのためにそれがかなえられます。(ヨハネ 15:7)

ユダヤ人についてあなたがたのよいと思うように、王の名で書き、王の指輪でそれに印を押しなさい。王の名で書かれ、王の指輪で印が押された文書は、だれも取り消すことができないのだ。(エステル 8:8)

たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわいを恐れませぬ。あなたが私とともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。私の敵の前で、あなたは私のために食事をととのえ、私の頭に油をそそいでくださいます。私の杯は、あふれています。まことに、私のいのちの日の限り、いつくしみと恵みとが、私を追って来るでしょう。私は、いつまでも、主の家に住まいましょう。(詩篇 23:4)

主の使いは主を恐れる者の回りに陣を張り、彼らを助け出される。主のすばらしさを味わい、これを見つめよ。幸いなことよ。彼に身を避ける者は。  
主を恐れよ。その聖徒たちよ。彼を恐れる者には乏しいことはないからだ。若い獅子も乏しくなって飢える。しかし、主を尋ね求める者は、良いものに何一つ欠けることはない。(詩篇 34:7)

エステルは捕囚先ペルシヤに住む、姿形の美しい従順な女性であり、ペルシヤ王アハシュエロスに従順でなかったかつての王妃ワシュティに代わって、王妃となった。(2:17)

ある日、ユダヤ人に絶滅の危機が訪れる。ユダヤ人を皆殺しにし、その財産を没収し、銀貨1万キカル(1キカル=34.2kg)を役人たちに渡して国庫に収めるという、宰相ハマンの提言が文書化され、王の印が押され、法として定められてしまった。エステルのおじモルデカイが、ハマンにひざまずかなかったため彼の怒りを買ひ、モルデカイだけでなく彼の民族全員をも滅ぼそうと企てたからである。モルデカイは、神の民として、神に滅ぼされるべきアマレク人・ハマンにひざまずく事ができなかったのだ。結果、思いもよらない悪い事態に発展してしまい、彼はユダヤ人にリンチされてもおかしくない状況である。

目の前にAという道と、Bという道があったとする。Aの道は、それまでの人生経験に則り、御言葉と現実とに適当な折り合いをつけ、無難に生きる道。Bの道は、経験からは困難が予想され、リスクがあるものの、御言葉に添った道であり、真理に適っている。Aの道を進んだ者はそれなりの人生を無難に送れるかもしれない、あえて、Bの道を選んだモルデカイは、これからどうなるのか。

モルデカイは、王妃となったエステルに願い、王にユダヤ民族のために寛大な処置をするよう求めるものの、エステルが王の前に出る事が王の心に適わなければ、彼女の死を意味する。このまま何もせずにいる事もできたかもしれないが、エステルも自分の民族のためにBの道を選んだ。ユダヤ人達は自分を危機に陥れた者を糾弾する事も、高貴な立場にいる王妃の提案を蹴る事もせず、ただモルデカイの提案に従い、3日間の断食をする事にして、彼らもBの道を選んだ。

エステルは王に受け入れられ、願い事があれば国の半分なりとも与えようとも言われたが、早急に自分の願いを伝えることはせず、ただ酒宴に誘っただけであった。その酒宴においても、願いを求められた時、翌日も酒宴を開くのでそこに来て下さい、と言っただけである。重要な決断をする時は、焦らず、御心をよく求め、御心の時期を求めるのである。その日、2つの重要な出来事が起こる。ハマンはますますモルデカイ殺害の意を燃やし、彼をつるすための50アンマ(22.5m)の柱を建てた。王はその夜眠れず、記録の書を読ませ、過去モルデカイが行った事を知り、彼に栄誉を与える事を決める。

結局、ハマンは自分の立てた柱につるされ、ハマンの家をエステルに与えた。王はハマンの持っていた指輪(印鑑)をモルデカイに与え、エステルは彼をハマンの家の管理人とした。(7:9-8:2) ユダヤ人を滅ぼす、という一度制定された法律については、王はモルデカイに実印を渡し、好きなようにさせた。白紙の小切手を渡され、好きに金額を書いて使って良い、と言うようなものである。

これらの結果は誰の功労か、という議論は無意味であり、Bの道を選ぶ者達全ての受ける幸いである。ハマンは権力を乱用して、自分の憎む者を殺すだけでは飽き足らず、その民族全体も滅ぼそうとした。神は助けと祝福において敵よりもしつこい。どれだけしつこいかというと、ハマンと家族を滅ぼすだけでは飽き足らず、主の民の敵を滅ぼし、救うだけでは飽き足らず、熱心に従ったモルデカイに栄誉を与えた。また、ユダヤ人になろうとする者が多く出、神の民に対する恐れが起きた。(8:17)

モルデカイは王宮で大きな勢力を持ち、その名声はすべての州に広がった。まさにこのモルデカイという人物は、日の出の勢いであった。決断の時は、どちらが得でどちらが損であるかではなく、真理に沿った歩みができるかどうかが大いである。神はその真実にかけて抛り頼む者を守り、御名のプライドにかけて祝福を与えるからである。

御言葉	詩篇37:1-9
賛美	ぼくの宝物 (ppt 6番)
使徒信条	会衆一同
交読文	20
賛美	ただ一つの願い (ppt 4番)
霊の祈り	川合姉妹
メッセージ	主に信頼して善を行なえ(1サムエル記 24-26章)
祈り	
賛美	イエスは勝利をとられた (ppt 8番)
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	パスター
報告	

### 祈祷課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 奉仕者が与えられるように:礼拝準備、賛美リード、奏楽
- 主に忠実な聖徒達が30名以上与えられるように

### 祝福の御言葉 下線を自分にあてはめて祈りましょう

私の敵の前で、あなたは私のために食事をととのえ、私の頭に油をそいでくださいます。私の杯は、あふれています。まことに、私のいのちの日の限り、いつくしみと恵みが、私を追って来るでしょう。私は、いつまでも、主の家に住まいましょう。(詩篇 23:4)

主の使いは主を恐れる者の回りに陣を張り、彼らを助け出される。主のすばらしさを味わい、これを見つめよ。幸いなことよ。彼に身を避ける者は、主を恐れよ。その聖徒たちよ。彼を恐れる者には乏しいことはないからだ。若い獅子も乏しくなって飢える。しかし、主を尋ね求める者は、良いものに何一つ欠けることはない。(詩篇 34:7)

あなたがたは、自分に関する限り、すべての人と平和を保ちなさい。愛する人たち。自分で復讐してはいけません。神の怒りに任せなさい。それは、こう書いてあるからです。「復讐はわたしのすることである。わたしが報いをする、と主は言われる。」もしあなたの敵が飢えたなら、彼に食べさせなさい。渴いたなら、飲ませなさい。そうすることによって、あなたは彼の頭に燃える炭火を積むことになるのです。悪に負けてはいけません。かえって、善をもって悪に打ち勝ちなさい。(ローマ 12:18-21)

### メッセージ(礼拝説教)概要

ダビデが詩篇37:1-9の境地に達することができたのはなぜか。1サムエル記から学びたい。

#### 1、サウルに手をかけなかったダビデ (24章)

ダビデはサウルに狙われていたが、そのサウルを殺す千載一遇のチャンスが彼に与えられる。ちょうどダビデと部下達が隠れていた所に、サウロが一人用を足しに来る。ダビデは部下に勧められ、衣の房を切り取る所まではしたものの、結局手をかけることはせず、はやる部下達を説き伏せて押さえた。しかし、やっぱりあの時殺しておけば良かったかな、と、少しは思っていたのではないかと思われる。なぜならダビデはその後サウルと共に帰るのではなく要害へ登った事と、その後のナバルとの一件からだ。

#### 2、ナバルとアビガイル(25章)

ダビデ達はパランの荒野へ下り、かつてダビデが良くしてやったナバルに援助のお願いをしに行った。かつてダビデは彼の羊飼いと行動を共にした時、恥ずかしい思いをさせる事をせず、ナバルの物が無くなるという事も無く、昼も夜も彼らを守ってやった。ナバルはかつて受けた恩を何とも思わず、自分の手元からどンドン逃げていく奴隷や自分の持ち物を惜しみ、ダビデの願いを罵りつつ断った。(25:10-11) それを聞いたダビデはナバルとそれに属する者達を殺すために出てゆく。ナバルの妻アビガイルは、夫には何も告げず急いで贈り物を用意し、自らダビデの下へ贈り物を届け、自分の手で復讐し血を流す事を止めるよう説得した。ダビデはアビガイルの説得に応じて贈り物を受け取り、アビガイルの故に和解した。10日後、ナバルは主に打たれて死に、アビガイルはダビデに妻として迎えられる。

ダビデからすれば自らの手で復讐し血を流さずに済み、自ら復讐せずとも主が報復して下さる事を学んだ。アビガイルからすれば愚かな夫から開放され、より良い夫に嫁ぐ事になった。時にはアビガイルのように、主人の意向に逆らっても、より真実な事をしなくてはならない時があるが、主に信頼して善を行ない、地に住み誠実を養う事こそ、生活の基本である。アビガイルがダビデの前でまず執り成したのは、自分の夫とそれに属する者にであり、和解した後は、これから何年続くとも分からない夫婦生活の場に自分の足で戻ったのだ。それ故、悪い夫は死んでより良い夫を得たいから、といった動機でみことばに仕えるのは、本末転倒である。

#### 3、再度訪れたサウルを殺すチャンス(26章)

サウルは再び、ダビデを殺そうと追いかける。しかし再びダビデに、サウルを殺すチャンスが与えられる。部下は「私がやりましょう」と言うが、ダビデは今度は、自信を持って断った。ダビデは言った。「主は生きておられる。主は、必ず彼を打たれる。彼はその生涯の終わりに死ぬか、戦いに下ったときに滅ぼされるかだ。私が、主に油そそがれた方に手を下すなど、主の前に絶対にできないことだ。さあ、今は、あの枕もとにある槍と水差しとを取って行くことにしよう。」(1サムエル 26:9,10) ダビデが言った通り、サウルはその生涯の終わりに戦いに下った時に滅ぼされた。

ダビデはその後の人生において、襲う者や呪う者達が幾人も現れるが、その都度、主に裁きを委ね、全ての災いから守られた。結論として、復讐も救いも、主にゆだねるべきであり、それは自分から手を出す事ではない。たとえ敵をどうにでもできるような状況が与えられたとしても、主に裁きを委ね、自分の手で復讐し血を流す事を避ける者には、主自らが裁き主となって代わりに復讐して下さり、誰の目にも明らかほどに私たちを義として下さるのである。

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	エレミヤ書31:16-22
賛美	セレブレイト ジーザス (ppt 10)
使徒信条	会衆一同
交読文	13
賛美	御言葉に歩めるように (ppt 7)
メッセージ	略奪と偽りの日々、その報い(1サムエル27、30章)
祈り	
賛美	イエスは勝利をとられた (ppt 11)
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	パスター
報告	

祈祷課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- 主に忠実な聖徒達が 30 名以上与えられるように

祝福の御言葉 下線を自分にあてはめて祈りましょう

私が主を求めると、主は答えてくださった。私をすべての恐怖から救い出してください。  
彼らが主を仰ぎ見ると、彼らは輝いた。「彼らの顔ははずかしめないでください。」  
この悩む者が呼ばわったとき、主は聞かれた。こうして、彼らはすべての苦しみから救われた。  
主の使いは主を恐れる者の回りに陣を張り、彼らを助け出される。  
主のすばらしさを味わい、これを見つめよ。幸いなことよ。彼に身を避ける者は。  
主を恐れよ。その聖徒たちよ。彼を恐れる者には乏しいことはないからだ。若い獅子も乏しくなって飢える。  
しかし、主を尋ね求める者は、良いものに何一つ欠けることはない。(詩篇 34)

むしろ私たちに全ての物を豊かに与えて楽しませてくださる神に望みを置くように。  
また人の益を計り、良い行いに富み、惜しまずに施し、喜んで分け与えるように。(1テモテ 6:17)

どうか私達の主イエスキリストの神すなわち栄光の父が、神を知るための知恵と啓示の御霊をあなたがたに与えて下さいますように。またあなたがたの思いの目がはっきり見えるようになって、神の召しによって与えられる望みがどのように栄光に富んだものか、また神の全能の力の働きによって私達信じる者に働く神のすぐれた力が、どのように偉大なものであるかをあなたがたが知る事ができますように。(エペソ1-17)

メッセージ(礼拝説教)概要

サウルを恐れたダビデはペリシテ人の地へ行き、ガテの王アキシュの下に身を寄せた。(27章)  
ダビデはかつてこの王を恐れ、気違いを装って逃れた事があった(21章)。  
アキシュの前で気違いを装った後、彼は主を呼んで悔い改めた。  
神は全ての恐怖から救い出し、主を恐れる者の周りに主の使いは陣を張る事を学んだのである(詩篇34)。  
その後モアブの王の下に行った時、「神が私にどんなことをされるかわかるまで、どうか、私の父と母を出て来させて、あなたがたといっしょにおらせてください。」(22:3)と、堂々と信仰告白し、その結果、ダビデの両親も養われ、祭司エブヤタルを得、敵サウルは恐れに包まれて益々過ちへと落ちて行った。(22章)

再びアキシュの元を訪れた時、どういうわけかダビデは恐れに支配された。  
この異邦人の王の元で生きて行くために、表向きはイスラエルに歯向かっているかのように振舞わねばならず、ユダの町々を襲ったかのように見せ、実は別の所を襲うという、略奪と虐殺と嘘をつく日々を送る。  
異邦の王に取り入り、異邦の地に適応する生活は、奪い合い、殺し合い、偽り合いの生活である。  
いよいよペリシテがイスラエルと一戦を交える段になった時、ダビデは一緒に行って戦う、と表明した。  
かつてサウルに自ら手を下すことをあくまで拒否したダビデは、その時、どのような心境だったであろうか。  
そのまま行けば、彼は神の民を刃にかける事になってしまうが、そこでも神は憐れみをかけてくださり、ペリシテの首長達を用いて、ダビデがイスラエルと戦う事が無いよう、取り計らってくださった。  
異邦の王に取り入ろうとするあまり、間違いを犯しそうな時も、主は憐れみ、決してしてはならない事からは守ってくださる。しかしそのような生活には歪みが生じ、自分の行った実は必ず刈り取る事になる。

自分の家に戻ると、アマレク人の略奪隊によって持ち物や妻子は奪われ、町は火で焼き払われていた。  
このわずか3日の空白の間に、狙い済ましたかのように、今まで略奪してきた物を略奪されてしまったのだ。  
ダビデも彼を頼ってきた部下達も泣く力が失せるまでに泣き、落胆し、民の不平不満はピークに達した。  
もしあの時、ダビデがイスラエルと戦うために出て行かなかったなら、防げたはずであった。  
自分の誤った判断のために災いに陥り、絶望のどん底に落ちた時、私たちはどうすべきか。

ダビデは絶望のどん底の中、主によって奮い立ち(30:6)その事が彼にとって、祝福と呪いの転換であった。  
ダビデは主に伺って言った。「あの略奪隊を追うべきでしょうか。追いつけるでしょうか。」するとお答えになった。「追え。必ず追いつくことができる。必ず救い出すことができる。」(30:8)  
御声に従って追っていくと、狙い済ましたかのように、見捨てられた奴隷に出会い、襲うには最もベストなタイミングに略奪隊の所へ到着し、多くの分捕り物を手に入れ、失ったよりも多くを得た。  
主によって奮い立ち、ただ主に頼る時、かつて失った人、物、時間さえ取り戻す事が出来、しかも、失ったよりも多くを得るのである。  
主は、私たちの間違った行動さえ用いて、全てを最善へと導く事ができるのである。

ダビデは分捕り物について、一緒に行かなかった者達へは分けてやらないという意地の悪いよこしまな部下達に対して、「兄弟たちよ。主が私たちに賜った物を、そのようにしてはならない。主が私たちを守り、私たちに襲った略奪隊を私たちの手に渡されたのだ。」と言い、この結果は主が為して下さったものとし、分捕り物は皆で同じように分け合わなくてはならないとした。  
偉大な手柄を無し、多くを手に入れた時、祝福された時こそ気をつけるべきである。  
祝福を得た時、それを独り占めすればそのままであるが、祝福が主から来たものとして、主にある兄弟姉妹に分け与える者こそ、さらに与えられ、富んで行くのだ。  
ダビデはその分捕り物をユダの長老達にもいくらか送ったからこそ、後にユダの民から王とされたのである。

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	詩篇107:1-9
賛美	セレブレイト ジーザス (ppt 13)
使徒信条	会衆一同
交読文	7
賛美	そそぎたまえ主よ (ppt 2)
メッセージ	聞き従わない者のわざわい(1サムエル9, 13, 15章)
祈り	
賛美	主の教えをよろこびとし (ppt 10)
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	パスター
報告	月曜は夜の祈祷会をお休みにします。

祈祷課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 奉仕者が与えられるように:礼拝準備、賛美リード、奏楽
- 主に忠実な聖徒達が30名以上与えられるように

祝福の御言葉 下線を自分にあてはめて祈りましょう

どうか私達の主イエスキリストの神すなわち栄光の父が、神を知るための知恵と啓示の御霊をあなたがたに与えて下さいますように。またあなたがたの思いの目がはっきり見えるようになって、神の召しによって与えられる望みがどのように栄光に富んだものか、また神の全能の力の働きによって私達信じる者に働く神のすぐれた力が、どのように偉大なものであるかをあなたがたが知る事ができますように。(エペソ1-17)

しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。

あなたがたは、以前は神の民ではなかったのに、今は神の民であり、以前はあわれみを受けない者であったのに、今はあわれみを受けた者です。

愛する者たちよ。あなたがたにお勧めします。旅人であり寄留者であるあなたがたは、たましいに戦いをいどむ肉の欲を遠ざけなさい。(1ペテロ2:9-11)

メッセージ(礼拝説教)概要

先週までダビデについて見てきたが、その対照的な人物であるサウルも見てみたい。彼はなぜ王の位を退けられ、主の前から追い出されたのか。それは、**聞き従わなかった**からだ。

サウルは当初どういう人物だったか。(1サムエル9章)

彼はイスラエルで最も美しく背が高く、金持ちで、人の意を汲み細やかな気遣いのできる人だった。ろばがいなくなって中々見つからない時は、父が心配するのでは、と気遣い、予見者の所に行く時も贈り物をどうしようかと気遣い、サムエルが自分に油を注いで王とした事について、家族に何も話さなかった。イスラエル全部族の前でくじによって追うとして取り分けられた時も、彼は荷物の間に隠れていた。人を気遣う心は良いものだが、主よりも人の目を優先して気遣うとしたらそれは弱さであり、災いを招く事となってしまふ。

信頼し従いきれなかったサウル(13,15章)

彼が王となり、ペリシテが攻めてきた時、その圧倒的な敵を見て民は皆散りそうになり、サウルはサムエルに言われたとおりに待ち続ける事ができず、自分で祭司の務めを果たしてしまう。

彼がサムエルに咎められた時の言い分は「民が私を離れ去って行こう」とするから。結果、祭司サムエルに愛想をつかさされ、民は去ってしまい、およそ600人しか残らなかった。しかしサウルの子ヨナタンの信仰ある行動によって救われ、主に従うためのチャンスが再び与えられる。「アマレクを打ち、そのすべてのものを聖絶せよ。容赦してはならない。男も女も、子どもも乳飲み子も、牛も羊も、らくだもろばも殺せ。」(15:3)

ところがサウルと彼の民は、アガグと、それに、肥えた羊や牛の最も良いもの、子羊とすべての最も良いものを惜しみ、これらを聖絶するのを好まず、つまらない、値打ちのないものだけを聖絶した。(15:9)

しかも、全てが成功裏に終わったと見ると、自分のために記念碑を建てさせた。(12節)彼がサムエルに咎められると、「民は\* \*だった」と2回言い訳をしている。(14~21節)

するとサムエルは言った。「主は主の御声に聞き従うことほどに、全焼のいけにえや、その他のいけにえを喜ばれるだろうか。見よ。聞き従うことは、いけにえにまさり、耳を傾けることは、雄羊の脂肪にまさる。まことに、そむくことは占いの罪、従わないことは偶像礼拝の罪だ。あなたが主のことばを退けたので、主もあなたを王位から退けた。」(15:22,23)

サムエルにこう言われて、「私は罪を犯した」と自分の罪を認めた(24節)が、サウルが言った動機は、自分の罪を悔いたからでなく、あくまで面目を保ちたいからである。(30節)

彼には悔い改めるチャンスは何度も訪れたが、その時その時において悔い改める事はせず、新しく主に油注がれたダビデに王位を譲っていれば良かったものを、あくまでそうしない。

そうなるとサウルのその後の人生は、転落の一途を辿るしかない。主を頼ろうとせず、人の目を気にし、彼の周りのイエスマンの耳を傾け(23:21)、自分のいく事を聞かなければ神の祭司達さえも殺してしまう。(22:17)

悔い改める機会に立ち返らなければ、その度に、自分を滅ぼすための炭火を積み上げるようなものだ。サウルの場合、結局最後まで立ち返らなかったため、積み上げてきた炭火が一気に爆発する。

聞き従う者の祝福と、聞き従わない者ののろい

事あるごとに主に立ち返らないまましていると、どんどん落ちぶれていき、最後には悲惨な死が待っている。私達にはとりなして下さる主イエスがいます。救われている。

主を信じた者から御霊が離れる事は決してないが、主を軽んじ聞き従わずにいると、申命記28章にある呪いが日々増し加わり、聞き従う者には祝福がある。

聞き従わない者ののろい:申命記28章15~68

聞き従う者の祝福:申命記28章1~14。

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	1ペテロ1:8, 9
賛美	この日は主が造られた (リビングプレイズ25 ppt 11)
使徒信条	会衆一同
交読文	39
賛美	満たして下さる方 (ppt 4)
メッセージ	見えるものによらず(1サムエル28章)
祈り	
賛美	イエスは勝利をとられた (ミクタム60 ppt 14)
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	会衆一同
報告	月曜は夜の祈祷会をお休みにします。

祈祷課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 奉仕者が与えられるように:礼拝準備、賛美リード、奏楽
- 主に忠実な聖徒達が30名以上与えられるように

祝福の御言葉(エペソ1:3-7) 空欄に自分の名前を入れて祈りましょう

\_\_\_\_\_の主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。

神はキリストにおいて、天にあるすべての霊的祝福をもって\_\_\_\_\_を祝福してくださいました。

すなわち、神は\_\_\_\_\_を世界の基の置かれる前からキリストのうちに選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。

神は、ただみこころのままに、\_\_\_\_\_をイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられたのです。

それは、神がその愛する方によって\_\_\_\_\_に与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。

\_\_\_\_\_は、この御子のうちにあつて、御子の血による贖い、すなわち罪の赦しを受けているのです。これは神の豊かな恵みによることです。

\_\_\_\_\_の主、イエス・キリストの名前によって。アーメン！

メッセージ(礼拝説教)概要

イスラエルに危機が迫っていた。

イスラエルを霊的に導いていた預言者サムエルが死に、ペリシテ人が大軍をもってシュネムに陣を敷いたのだ。(28章)

サウルはペリシテの陣営を見て恐れ、ひどくわななき、主に伺ったが、何によっても主は答えられなかった。

サウルは主に伺うという事を久しくしていなかったと思われる。

彼はアマレクとの戦い以来、一度もサムエルと会う事をせず、神の祭司を殺す事を躊躇無く命じ、また、神に油を注がれたダビデを殺そうと2度も追ったからである。

サウルはかつて、主ご自身から王としての油を注がれ、新しい人に変えられ、多くの不思議な体験もしてきたにもかかわらず、主を軽んじ、御声に聞き従わなかった。

主を軽んじ、主に伺うという事を長らく怠っていると、いざという時、主の御声は聞こえなくなっているのだ。

人は実際に目で見えるもの、耳で聞こえるものに頼りやすく、目に見えず耳に聞こえない神は頼りにくい。神はそれをよくご存知なので、十戒の第一と第二において特に警告したのである。

特に偶像礼拝や占い、霊媒などは主が忌み嫌われ、主によって追い払われる行為である。(申 18:10-12)

サウルの場合、自分に都合の良い事を言うてくれたり、導いてくれたりしてくれるのなら、別にそれは神でなくても良く、実際に目に見え耳に聞こえる導きを求め、夜、変装してエン・ドルの霊媒の女もとへ行く。

かつて霊媒や口寄せを絶ち滅ぼし、それらの者から恐れられるほど厳しく取り締まったにもかかわらず。

霊媒のいるエン・ドルは自軍のギルボア陣地から約20km、シュネムの敵陣を通り越した先にある。

彼が夜変装して敵陣の向こうへ行ったのは、探るためでも逃げるためでもなく、霊媒に会いに行くためだ。

エン・ドルにおいて、彼は本当にサムエルに会えたのだろうか？ そうでは無いと思われる。

「ちりはもとあつた地に帰り、霊はこれを下さつた神に帰る。」(伝道者 12:7)と書いてあるからだ。

人が死んだらその霊は神の元に帰り、そして別の世界、すなわちハデスカパラダイスに行く。

その事が書かれてあるルカ 16:19-31、イエスが話されたラザロと金持ちの物語を見てみたい。

人は死んだら、アブラハムのふところ(パラダイス)で慰められるか、ハデスで苦しみ、そして最後の審判の時まで、そこで過ごす。

ハデスとパラダイスの間には大きな淵があり、人はそこを超えて行くことはできないし、霊媒や口寄せごとき人間が死人を呼び戻せるものではない。

また生前、貧しくて悪いものを受けていたら自動的にパラダイスに行けて、生前富んでいて良い物を受けていたら自動的にハデスへ落とされるのではない。

どちらへ行くかという鍵は、モーセと預言者、すなわち聖書の言う事を聞き、それを信じるかどうかだ。

ラザロが信仰の父・アブラハムの側に行けたのは、ラザロも信仰を持っていたからだと思われる。

金持ちは生前、モーセと預言者にいつでも耳を傾けられたにもかかわらず、それらを軽んじていた。

サウルも同じで、彼はみことばに耳を傾けその通り行わなかったため、たとえ死人に会えたとしても、得るのはさらなる恐怖と絶望だけだった。

私達が唯一頼るべきは、イエス・キリストであり、このお方に信頼する者は、決して失望させられる事はない。見えるもの、聞こえるものに頼ろうとする欲求より、御言葉を優先させる事こそ、彼の力を体験するコツである。

私達の目にはイエス様は見えないし、耳に聞こえないけれど、信じる時、言葉に尽くせない喜びに溢れる。それは、信仰の結果であり、たましいの救いを得ているから。(1ペテロ 1:8,9)

私たちは、見えるものではなく、見えないものにこそ目を留めるべきである。なぜなら、見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからだ。(2コリント 4:18)

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	1ペテロ4:12, 13
賛美	御名をかかげて(Rick Founds ppt 17)
使徒信条	会衆一同
交読文	51
賛美	モア・ザン・イナフ (Faith03 Vol2 #5 ppt 28)
メッセージ	恐れなくて信じていなさい(マルコ5:22-43)
祈り	
賛美	イエスは勝利をとられた (ミクタム60 ppt 15)
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	会衆一同
報告	パスターと川合幹事は、8/4(水)夜から7日(土)までの間、新潟グローリーチャペルへ奉仕に出かけます。

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- ・主に忠実な聖徒達が 30 名以上与えられるように

祝福の御言葉(ヨハネ 14:13、16:23-24) 空欄に自分の名前を入れて祈りましょう

私は \_\_\_\_\_ が私の名によって求める事は何でもそれをしましょう。父が子によって栄光をお受けになるためです。

\_\_\_\_\_ が私の名によって何かを私に求めるなら、私はそれをしましょう。

まことにまことに \_\_\_\_\_ に告げます。

\_\_\_\_\_ が父に求めることは、何でも、父は私の名によってそれを \_\_\_\_\_ にお与えになります。

求めなさい。そうすれば受けるのです。

それは \_\_\_\_\_ の喜びが、満ち満ちたものとなるためです。

\_\_\_\_\_ の主、イエス・キリストの名前によって。アーメン！

メッセージ(礼拝説教)概要

会堂管理者の一人、ヤイロという人がイエスの足もとにひれ伏して自分の家に来ていただきたいと願った。彼には十二歳のひとり娘がいて、死にかけていたのである。

大勢の群衆が押し迫っている中、イエスと彼は共に行ったが、その途中、ある事が起きた。12年の間長血を患っていた女の癒しが行われたのだ。もし自分の事で頭がいっぱいな人だったら、邪魔な群衆なんて消えればいいのに、イエス様は何を立ち止まってきよきよしているのだ、この女は癒されたのだから早くしてくれ、などと思うかもしれない。しかし、全てを見通す主の思い計らいは、我々の思いを超えて遥かに高く、無駄な事は何一つ無い。

そうこうしているうちに、娘が亡くなったとの報告を受けた。イエスはそれを聞き流して(岩波訳)「**恐れなくて、ただ信じなさい。**」と言った。彼は主に親しい少人数の弟子だけを伴い、その他は誰も一緒に行くことをお許しにならなかった。(37節) 主は御技を為すために、有象無象の大人数は必要なく、少人数の信仰を持った者達がいれば良い。多くの人たちは「もう死んだのだから先生を煩わすには及ばない」(35節)と言ったり、取り乱したり、大声で泣いたりわめいたりしたり(38節)、イエスをあざ笑ったり(40節)して、純粋に信じる者の心さえくじくからだ。イエスは少女の手を取り「少女よ、起きなさい」と声をかけると、すぐさま起き上がり、自分の足で歩き始めた。そこにいた者達は非常な驚きに包まれたが、主はこの事を誰にも知らせないように、きびしく命じた。信じない者達は外に追い出され(40節)、主に親しい少数の者だけが奇跡を密やかに見る事ができるのだ。

実は、平行箇所のみタイ福音書ではこの場面は少し状況が違っている。「**私の娘がいま死にました。でも、おいでくださって、娘の上に御手を置いてやってください。そうすれば娘は生き返ります。**」(のみタイ 9:18)

ヤイロがイエスにお願いした時は、娘は既に死んでいて、生き返らせていただきたい、と願っている。のみタイとマルコ、ルカとで同じ事を言っているのに、整合性が取れていないのはどういう事だろうか。イエスのご性質は信じる一人一人を通して表現され、福音は人の「宣教」という愚かさによって伝えられる。イエスがどういってお方であるか、という印象や、強調したい事柄は、書いた人や表現する人によって皆違う。聖書は様々な立場の人によって書かれるため、表現は非常にバラエティに富み、様々な人の違った角度からの表現がある。もし神が、一字一句、整合性を完璧に取る事を重視したのであれば、福音書は4つも必要無かつただろうし、聖書はもっと平坦で味気無いものとなっていただろう。聖書は人を通して書かれたが、それでも天地が滅びた後も残るのは、間違いなく神の言葉でもあるからだ。のみタイは、死んだ娘をイエス様は必ず生き返らせて下さる、という、親の信仰を強調した。彼は恐らく安息日ごとに読まれる御言葉を聞き、神は何を喜ばれ何を喜ばれないか知り、信じていただろう。長血を患う女は、彼女の信仰が彼女自身を救ったが、ヤイロの娘は、ただ親の信仰によって救われたのだ。親の信仰が子を救ったもう一つの例、創世記 22 章を見たい。

アブラハムは、長年待ち望んでやっと産まれた愛する一人息子を捧げよと言われた時、神には人を死者の中からよみがえらせることもできる、と考え(へブル 11:19)3日の道のりを経て主の示された山へ行き、「**私と子どもとはあそこに行き、礼拝をして、あなたがたのところに戻って来る。**」(創世記 22:5)と言った。その信仰によって、死者の中からイサクを取り戻した。このように信仰の試練を通らされる事があるが、自分の握りしめているものを主の前に横たえ、明け渡す時、失おうとしていたものを得、しかも、失おうとしていたものの代わりまで与えられる。そしてこの試練を通った者は、信仰における不純物は一切削ぎ落とされるのだ。

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	イザヤ53:1-6
賛美	感謝と喜びを
使徒信条	会衆一同
交読文	35
賛美	モア・ザン・イナフ (Faith03 Vol2 #5 ppt 28)
メッセージ	きっと直る(マルコ5:22-43)
祈り	
賛美	イエスは勝利をとられた (ミクタム60 ppt 15)
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	会衆一同
報告	パスターと川合幹事は、8/4(水)夜から7日(土)までの間、 新潟グローリーチャペルへ奉仕に出かけます。

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- ・主に忠実な聖徒達が30名以上与えられるように

祝福の御言葉(エレミヤ15:11、19-20) 空欄に自分の名前を入れて祈りましょう

主は仰せられた。

「必ず私は\_\_\_\_\_を解き放って幸せにする。

必ず私は、わざわいの時、苦難の時に敵が\_\_\_\_\_にとりなしを頼むようにする。

もし\_\_\_\_\_が卑しいことではなく、尊いことを言うなら、\_\_\_\_\_は私の口のようになる。

私は\_\_\_\_\_を、堅固な青銅の城壁とする。

彼らは\_\_\_\_\_と戦っても勝てない。私が\_\_\_\_\_と共にいて\_\_\_\_\_を救いを\_\_\_\_\_

\_助け出すからだ。

\_\_\_\_\_の主・イエスキリストの名前によって。 アーメン！

メッセージ(礼拝説教)概要

イエスとヤイロが、群集をかきわけヤイロの家に向かう途中の事、ある女がイエスの後ろから近づいて来た。この女は12年もの間、長血を患っていた。

長血とは、長期間の出血を伴う婦人病で、祭儀的には汚れた者と見なされている。彼女は失血による動悸や息切れ、めまいに長年悩まされ、安息日の集いに参加できないだけでなく、触れる者は穢れてしまうとある(レビ15:19)ため、彼女に近づこうと思う者はあまりいない。「多くの医者からひどいめに会わされた」とあるため、彼女の病を利用する医者もいた。また、律法は冷徹にも「あなたは穢れている」と宣告するのみで、何の助けにもならなかった。律法は違反を示すためにつけ加えられたもの(ガラテヤ3:19)であり、いのちを与えることはできず(同21)、ただキリストへと導くための養育係である。(同24)この女も、会堂管理人ヤイロも、律法によってイエスへと導かれたのである。

彼女は、この病さえ患っていなければ、若い年月も、資産も、もっと有効に活用できただろうし、より有意義な人生を送れたかもしれないが、この病が生活のさまざまな活動の枷となり、周囲からはどんどん取り残されて行く12年を過ごしてきた。こんな病さえなければ、こんな時代でなければ、あいつさえいなければ、もっと有意義な人生だっただろうに、もっと平穏な生活が送れただろうに、もっと人から愛されただろうに、、、と思うような事はないだろうか。どんな人も、どんな医者も、アダム以来の根本的な呪いから癒すことはできない。しかしイエスは全ての罪を赦し、病を癒し、栄光の富によって満ちたら背、全ての事を働かせて益として主の栄光へと変える事がおできになるお方である。

ある日彼女はイエス様が近くに來られたと聞き、うしろから近づいて、イエス様の服に触れようとした。「お着物にさわることでもできれば、きっと直る(救われる)。」と考えていたからである。その症状である息切れやめまいに耐えつつ、群集の中心にいるイエスに後ろから向かって行く、という行為は、並々ならぬ努力を要しただろう。この女がイエス様に触れた時、イエス様から力が出て、この女に流れて出て癒され、健やかにされた。信仰をもってイエスに向かって手を伸ばす時、たとえイエスにその気がなくても、癒しの力は勝手に流れて行ってしまうのだ。(マルコ8:29)

イエスが「誰かが触れた」と言って探し回ったとき、彼女はとても恐れた。なぜなら彼女は汚れた者であり、イエスの衣に触れる、という事は、イエスを汚す事になるから。しかし、信仰を持って主に手を伸ばすなら、全ての汚れは清くされ、全ての病は癒される。「娘よ。あなたの信仰があなたを直した(救った)のです。安心して帰らなさい。病気にかからず、すこやかでいなさい。」(マルコ5:34)

この場面において、イエスに触れた群集は大勢いたが、神の力が流れてきたのは信仰を持ってイエスに触れたこの女だけであり、娘を死から救い出された奇跡を得たのは信仰を持ってイエスにお願いしたヤイロだけである。ヤイロの娘は、会堂で育ち律法に守られた12年だったが、突然訪れる死という運命には逆らえなかった。長血の女は、いのちを生まない病によって穢れ、会堂に入りたくても律法によって入れない12年だった。12という数字は神の主権を意味し、イエスはどんな境遇にある者でも、死から、病から救出だす力がある。私達を救うのは信仰である。「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」使徒16:31興味本位でイエスに近づく者ではなく、信仰を持ってイエスに手を伸ばし、神の力を自分のものになりたい。

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	詩篇133
賛美	セレブレイト ジーザス(ミクタム121 ppt14)
使徒信条	会衆一同
交読文	7
賛美	そそぎたまえ主よ (ppt 2)
メッセージ	油を用意せよ(マタイ 25:1-13)
祈り	
賛美	ぼくの宝物 (ppt 13)
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	会衆一同
報告	

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように:礼拝準備、賛美リード、奏楽
- ・主に忠実な聖徒達が 30 名以上与えられるように

祝福の御言葉(ヨハネ 14:13、16:23-24) 空欄に自分の名前を入れて祈りましょ

イエスは仰せられた。

私は \_\_\_\_\_ が私の名によって求める事は何でもそれをしましょう。父が子によって栄光をお受けになるためです。

\_\_\_\_\_ が私の名によって何かを私に求めるなら私はそれをしましょう。

まことにまことにあなたがたに告げます。\_\_\_\_\_ が父に求めることは何でも父は私の名によってそれを \_\_\_\_\_ にお与えになります。

求めなさい。そ

うすれば受けるのです。それは \_\_\_\_\_ の喜びが満ち満ちたものとなるためです。

\_\_\_\_\_ の主・イエスキリストの名前によって。 アーメン！

メッセージ(礼拝説教)概要

マタイ 25:1-13 における、10 人の娘のたとえを、詳しく訳しつつ見ていきたい。

日本語訳では分からないが、灯は「**自分自身の**(:αυτουハウトウ)」が付くので、この灯は家電屋に置いてある電気のような、規格化されたものではない。

自分自身の灯を灯す者は、それによって自身が焼き尽くされ、苦しみの内に倒れる。(イザヤ 50:11)

私達は、自前の灯ではなく、御言葉を灯(詩 119:115)とする事がまず第一のクリア条件である。

5 人のおとめは灯と共に、油(ελαιονエライオン:オリーブ油)を入れ物(αγγειον アンゲイオン:容器、器、入れ物)に入れて用意し、他の 5 人は用意していなかった。

皆が持っているランプや器はそれぞれ違うが、油は全て同じオリーブ油である。

すなわち、「器」とは私達を、「オリーブ油」とは、聖霊、またキリストの頭に注がれた油(詩 133)を意味する。

私達という「器」は、常に聖霊の油に、また、キリストに注がれ滴り落ちる油によって満ちているべきである。

さて、花婿が来るのが遅れ、皆うとうとして眠り始め、夜中に『そら、花婿だ。迎えに出よ。(進み出て、彼にまみえよ)』と叫ぶ声が出た。

娘たちは、みな「起きて」(εγίρω エギーロ、(眠りや病、死から)起きる)、自分の灯を「整えた」。(κοσμέω コスメーオー、飾る、整える、着飾る)

つまり、皆が眠っている所を、ある声によって「起きて」いるので、死者の復活の時と思われる。

来るべき時、各自は自分自身の灯をコスメして、御前に出るのだが、ともしびを灯すには、油が必要である。

愚かな娘たちは、賢い娘たちに『油を少し私たちに分けてください。私たちの灯は消えそうです。』と言うが、それに対する賢い娘達の答え(9 節)を詳しく分析したい。

『いいえ、①あなたがたに分けてあげるにはどうも足りません。それよりも②店に行つて、③自分のをお買いなさい。』

①は、「もし私達とあなた方で分け合ったら、不足を来たしてしまう」というニュアンスがある。

②「店」は正確には「**売人**」(πωλέω ポーレオー)であり、現代のショッピングセンターやコンビニのような所ではなく**バーターのように物々交換する人**。

③意味的に「**自分自身のために**」が「自分のを買いなさい。」の前に挿入される。

普段から油を準備する事を怠り、いざという時に花婿を置いて、**自分自身のために**飾りたい人たちが主催される大なる物々交換劇に参加して、文字通り「油を売っている」うちに締め出されてしまうような者。

私達は、そういう者達に対して、賢くあしらわなくてはならない。

賢い娘達は、「もし自分の尊い油さえも売るような人がいるなら、そういう自分好きな人たちの所へ行つて買え」と言つて、賢くあしらった。

私達が灯火を整え、油を溜めるのは、花婿を迎えるためであり、自分をコスメするためではない。

自分が溜めた尊い油は、決して手放してはならないが、終わりの時代になると、自分の油さえ物々交換する者が出て来るので、「ちょうだい」と言う声についつい応えて与えてしまう人は要注意であり、人に与えるべき物と与えてはならないものの判別は必要である。

この「油」を溜めていくには、どうしたらいいか。

油絞りの場所、すなわちゲツセマネにおいてキリスト(油注がれた者)は「わたしの願うことではなく、あなたのみこころのままに」と祈り、また弟子たちには「誘惑に陥らないように、目をさまして、祈り続けなさい。心は燃えていても、肉体は弱いのです。」と言っている。

私達も誘惑に陥らないよう絶えず目を覚まし、「私の願いではなくあなたの御心の通りに」と祈つて油を絞り、

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	ローマ 8:1-4
賛美	ホザナ (Faith03 Vol.2 #1 ppt25)
使徒信条	会衆一同
交読文	29
賛美	感謝と喜びを(ppt 18)
メッセージ	悪魔 - 訴える者 (ゼカリヤ 3:1-5)
祈り	
賛美	イエスは勝利をとられた (ppt )
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	会衆一同
報告	

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- ・主に忠実な聖徒達が 30 名以上与えられるように

祝福の御言葉(ローマ 8:31-39) 空欄に自分の名前を入れて祈りましょう

神が \_\_\_\_\_ の味方であるなら、だれが \_\_\_\_\_ に敵対できるでしょう。  
\_\_\_\_\_ のために、ご自分の御子をさえ惜しまずに死に渡された方が、どうして、  
御子といっしょに全てのものを、\_\_\_\_\_ に恵んでくださらないことがありません。  
\_\_\_\_\_ を訴えるのはだれですか。神が義と認めてくださるのです。

罪に定めようとするのはだれですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた  
方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、\_\_\_\_\_ のためにとりなして  
くださるのです。

死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある  
者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスに  
ある神の愛から、\_\_\_\_\_ を引き離すことはできません。

\_\_\_\_\_ の主・イエスキリストの名前によって。 アーメン！

溜め、そうして得た尊い油は、決して手放さないようにしたい。

メッセージ(礼拝説教)概要

まず、ローマ 8:1-4 によると、キリスト・イエスにある者は、神から罪に定められることは決して無い。  
「悪魔」はギリシア語で「διαβολος (ディアボロス)」すなわち訴える者、告発する者、誹謗中傷する者である。  
逆に翻訳するなら「私は誰々を告発します」「誰々を中傷します」と言う事は、ギリシア語的に「私は誰々の  
悪魔です」と言っているようなものである。  
悔い改めて自分の罪を告白するならば赦してください(1ヨハネ 1:8,9)が、自分を棚に上げ、兄弟姉妹を  
中傷して悪魔の座に着き続ける者は、闇の中におり(同 2:9-11)悪魔と同等の裁きがある。(同 3:7-12)  
どうしようもなく兄弟姉妹を攻めたい思いに駆られた時は、まず、イエスの血によって思いを清めていただく。  
その思いは、主にある私からではなく、悪魔から来たものである事、またキリストにある自分の立場(エペソ  
2:6)を宣言し、悪魔に対しては高らかに勝利した者としての立場(黙示録 20:10)に立つ事である。

悪魔の性質は、日夜休み無く神の御前で訴える事(黙示録 12:9,10)であり、兄弟姉妹を訴える行為は、悪  
魔の座に座る事、「言った者勝ち」「訴えた者勝ち」の論理は、実にサタンから来る。  
悪魔がなぜこうも日夜ひっきりなしに訴えるのか。それはどさくさに紛れて、邪悪な自分を隠すためだ。  
最初に訴える者は、その相手が来て彼を調べるまでは、正しく見えるものだ。(箴言 18:17)  
善悪の実を食べたアダム、エバが真っ先にした事といえば、自分の事は棚に上げ、隣にいるこいつが悪い、  
と訴えたが、もし誰かを訴え罪定めするならば、その人は自分の用いた量りに応じて訴えられてしまう。  
故に「我らに罪を犯す者を、我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ」という祈りを、主は勧められたのだ。

大祭司は神と人との間に立ち、民のために神にとりなす者だが、ここでヨシュアはよごれた服を着ていた。  
主の御前に立つには、主の示された規定に従い、一つでもそれを違えると打ち殺されてしまうほど神は聖  
なるお方であり、御前に立つのは恐れ多い事であるが、主の御前には皆、よごれた服を着ているような者  
であり、悪魔からいくらでも訴えられる余地のある者である。  
サタンがヨシュアを訴えようと神と同じ所に立っていたのは、彼は神と同等の高い所に立ちたいからである。  
しかし神は「サタンよ。主がおまえをとがめている。エルサレムを選んだ主が、おまえをとがめている。これ  
は、火から取り出した燃えさしではないか。」(ゼカリヤ 3:2)と言われた。  
神と同じ裁きの座にノコノコと来て立ち、誰かを罪定めしようとする者は、逆に罪に定められるのだ。  
主はヨシュアを「燃えさし」と言われ、神の目からは、彼は既に罪も穢れも燃やされた、と見られていた。  
そして、実際によごれた服を脱がせて下さり、礼服すなわち主イエスの裂かれた体を着せて下さり、きよい  
ターバンをも被らせてくださった。  
神はなぜ人(ヨシュア)を憐れみ、サタンをとがめたのか。

そもそも、人が母の胎に宿った時から既に罪ある者とならなくてはならない、その不条理の仕組みへと、人  
間を陥れたのが、悪魔だ。  
このサタンが導入させた罪と死から、人を救うために、イエス様という義の衣を、遣わしてくださったのだ。  
本当に訴えられるべき悪魔が逆に訴え、訴えるべき人間が逆に訴えられているという、大いなるおかど違  
いを、サタンは「偽り」によって演じているのだ。

人は罪があり、訴えられて当然であり、大祭司ヨシュアさえも申し開きする事ができなかった程であるが、そ  
れに対し、神は人を徹底的に救おうとされた。  
人には訴えられるべき点は確かにあるが、主が叱って下さったのは、告発する者の口である。  
主は、「悪魔よ、おまえは人が何したと訴えるが、その本質、その仕組みを作ったのは、おまえだ。わたしは  
おまえを、咎める。わたしはおまえの訴えた人間には、きよい衣を着せ、きよいターバンをかぶらせる。」と  
言って下さる。

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	詩篇133
賛美	栄光イエスにあれ／子羊イエスよ (ppt 21,22)
使徒信条	会衆一同
交読文	45
賛美	感謝と喜びを(ppt 18)
メッセージ	悪しき者への対処
祈り	
賛美	イエスは勝利をとられた (ppt )
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	会衆一同
報告	

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように:礼拝準備、賛美リード、奏楽
- ・主に忠実な聖徒達が30名以上与えられるように

祝福の御言葉 空欄に自分の名前を入れて祈りましょう

キリストにあって、、、  
\_\_\_\_\_は神の子どもです。(ヨハネ1:12)  
\_\_\_\_\_はキリストの友人です。(ヨハネ15:15)  
\_\_\_\_\_は義と認められています。(ローマ5:1)  
\_\_\_\_\_は主とつなぎ合わされており、主と\_\_\_\_\_は一つ霊、代価を払って買い取られました。\_\_\_\_\_は神に属する者です。(1コリント6:17、19-20)  
\_\_\_\_\_はキリストのからだの一部です。(1コリント12:27)  
\_\_\_\_\_は聖霊を通して神に直接近づく権利を得ています。(エペソ2:18)  
\_\_\_\_\_は犯した全ての罪からの贖い、赦しを受けています。(コロサイ1:14)  
\_\_\_\_\_はキリストにあって、満ち満ちて完全です。(コロサイ2:10)  
\_\_\_\_\_の主・イエスキリストの名前によって。 アーメン！

人ではなく、悪魔を叱ってくださったところに、主の大いなる恵みがある。

メッセージ(礼拝説教)概要

主は兄弟達の「一つさ」に、とこしえのいのちの祝福を命じられた。(詩133)

主はいのちを養い、はぐくみ、建て上げ、一つにするお方であるのに対し、悪しき者は告発し、いのちを食い散らし、兄弟姉妹を相争わせ、憎しみを増長させる。

兄弟姉妹の中に悪しき者が入り込む事があるが、その見極めは**結ぶ実**によって(マタイ7:15-20)、また、**罪の内をあえて歩み続けようとするか**(1ヨハネ3:10)によって分かる。

犬は吐いた物に戻り、豚は尊い真珠を踏みにじり、真珠を与えた者に向かって**引き裂く**。(マタイ7:6) 見極めのために、偽りやニセモノについて知識を蓄える必要は無く、ただホンモノの真理に親しみ、ホンモノなるお方に触れていれば、偽りが来た時に感覚で分かるようになる。

ホンモノの主であるイエスは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つために来た方である。

対して**盗人は、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのために来る**。(ヨハネ10:10)。

悪しき者は人を試み、告発し、騒ぎ立て、姦淫の現場で捕らえた女を宮にまで引きずり立てた者達(ヨハネ8:1-11)のように、良心で痛んでいるクリスチャンの痛みさえも逆に利用して、攻める道具へと代える。

イエスはどのようなお方か。**罪を糾弾する事をせず、罪を覆い、赦す**。

このイエスの品性の内に養われている内に、私達は聖なる者と汚れた者の違いを感覚で分かるようになる。

悪しき者からの攻撃を受けた時は、本来の権威に戻り、真理のみことばを宣言する。

私の立場：**キリストとともに生かし、キリスト・イエスにおいて、ともによみがえらせ、ともに天の所にすわらせてくださいました。(エペソ2:6)**

敵の立場：**彼らを惑わした悪魔は火と硫黄との池に投げ込まれた。そこは獣も、にせ預言者もいる所で、彼らは永遠に昼も夜も苦しみを受ける。(黙示録20:10)**

週報左にあるリストは、キリストにあってあなたがどのような立場にあるかを宣言するのに有用である。

霊的な立場としてはキリストにある者は勝利の側、サタンは敗者の側にあり、権威的な上下関係にある。

王様ゲームの勝利者のように、主に在る者はサタンにイエスの名によって何でも命令できるのだ。

そうでないかのように見えるのはなぜか。

それは、偽りを吹き込まれており、恐れに囚われているからである。

悪魔がキリストにある者に対してできるは、思いの中に吹き込む「恐れ」や「偽り」であり、それ以上の事は神の許可なしにはできない。

ゴキブリが出るとその部屋に入れないう女性がいるが、ゴキブリには女性を部屋から閉め出す物理的力も権威も無いのに、なぜ女性は部屋から閉め出されてしまうのか。

それは、彼女自身のゴキブリに対する恐れや、ゴキブリに触れると多大なダメージを受ける、といった、偽りの思い込みが原因であり、立ち向かわないままでいると、部屋はゴキブリに占拠されればなしのままである。私達はサタンに対してそうであってははいけない！

悪魔に対する対抗手段は「**神に従いなさい。そして、悪魔に立ち向かいなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。**」(ヤコブ4:7)この順番が重要である。

そしてエペソ6章の霊的武具を取り、御言葉の剣を持って立ち向かい、足の下に踏みにじるべきである。霊的な武具の扱い方を教えて下さいと祈れば、主はきちんと戦い方を教えて下さる。

実は私は、その祈りを先週月曜朝に行い、土曜までに学んだ事は、まず、悪しき者は御言葉を極端に嫌うという事と、悪しき霊を叱る祈りは、例え耳に聞こえることばに出さなくても、遠隔地にあったとしても、きちんと効果がある、という事だった。

確かにサタンは色々な手を使って攻撃してくるが、主に在る私達にとって、サタンの攻撃は、より成長するためのネタにすぎなくなるのだ。

2010年 8月29日

## 礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉イザヤ8:22-9:7

賛美イエスは愛で満たす (ppt 5)

使徒信条会衆一同

交誦文53

賛美黙示録21:3, 4 (ppt 10)

メッセージ死をも滅ぼされる主

祈り

賛美イエスは勝利をとられた (ppt 17)

主の祈り会衆一同

祝福の祈り会衆一同

報告

## 祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行く教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- ・主に忠実な聖徒達が30名以上与えられるように

## 祝福の御言葉 空欄に自分の名前を入れて祈りましょう

死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある

者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、の主キリスト・イエス

にある神の愛から、を引き離すことはできません。(ローマ8:39)

パウロであれ、アポロであれ、ケパであれ、また世界であれ、いのちであれ、死で

あれ、また現在のものであれ、未来のものであれ、すべてのものです。

そして、はキリストのものであり、キリストは神のものであります。(1 コリ3:22)

の主・イエスキリストの名前によって。 アーメン！

## メッセージ(礼拝説教)概要

この1週間の間、身近な3人の死に関わったが、それについて何か語らせていただくというのは、あまりに重い事であり、「これこれの意味がある」などと第三者的に解説できるものでもない。

しかしこの事を置いて他を語る気がしないのは、兄弟姉妹の喜びや悲しみは、キリストの体の交わりにおいて互いに無関係ではありえず、また、これら出来事を通して学んだ貴重な事は、分かち合わなくてはならないと切実に思うからである。

神様の個人個人に対するお取り扱い、特にいのちに関する事柄は、本人といえど不可解なものである。

ダビデとバト・シェバの間に生まれた子は、何もしていないのに父親の罪の故に神から打たれた。

ある者が罪を犯して本人が罰されるのは理解できるが、別の者が代わりに罰されるのは、不条理に見える。彼の死によって、生き残った多くの者達、すなわちダビデとその王国は、周辺の異国のように罪にまみれる事から防げたが、それでは一体、その子はどうなるのか。

人は、世における行いに従っておのおの裁かれると書かれてあるため、善も悪もしないまま亡くなったその子は裁かれる事無く、ラザロのように、世では得るに至らなかった慰めを主の懷で享受していると思われる。親の罪故に亡くなった子の弟に当たるソロモンは、以下の言葉を残している。

「私は、まだいのちがあつて生きながらえている人よりは、すでに死んだ死人のほうに祝いを申し述べる。また、この両者よりもっと良いのは、今までに存在しなかった者、日の下で行なわれる悪いわざを見なかった者だ。」(伝道者4:2,3)

ソロモンは、世のあらゆる栄華を極め、甘いも酸いも嘗め尽くした結果、この言葉に至った。

いたずらに苦しみや罪を増し加えるためだけに生きる人生もあるため、主の御前では、「この世で生き続ける」事が最善であるとは限らず、むしろ早く世を去ってキリストの御許に行くほうが優れている事もある。

主は死を容認しているわけではなく、サタンの唆しによって人に入ってきてしまった「死」を非常に憎まれる。サタンはいのちを憎み、その瑞々しさ、美しさ、その躍動を、何とかして破壊しようとするが、神はいのちを量っておられ、それに手をつける事はサタンであつてもできない。(ヨブ2:6)

キリストは死に対し、サタンに対し、罪に対し、圧倒的に勝利し、主の愛から引き離す者は何者も無い。

「死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。」(ローマ8:39)

もし死が全ての終わりであるならば、この世は不条理の極みであるが、キリスト者には、死の向こう側がある。イエスがあえてラザロが死ぬまで沈黙されたのは、イエスご自身が、よみがえりでありいのちである事を私達が知り、イエスを信じるまでに至る事が、文字通り「死ぬほど大事」だったからである。

御父の思いは天を越えて遥かに高く(イザヤ55:8-11)、御父の愛は死を超えて遥かに強い。

御父は御子を十字架から助ける事など指を動かすよりも遥かに簡単だったはずなのに、あえて沈黙された。それは、御子の死の向こう側に、より良い「いのち」があり、私達人間を彼にあつて死から開放するためだ。子が嘲られ、罵られ、死に渡されようとしている時、沈黙して何もしないような親はいるだろうか。

人間の愛はインスタントに、子を苦しみから解き放とうとするが、父の愛は死を超えて遥かに強いのである。しかし、単に強いだけではなく、私達の心の辛さ、言葉にならないうめきも全て受け止めておられる。

御霊は弱い私達を助けてくださり、私達はどのように祈ったら良いか分からなくても御霊ご自身が言いようもない深いうめきによって、私達のためにとりなしてくださるのだ。(ローマ8:26)

キリストにあつて眠った者たちはよみがえらせられ、主はあらゆる権威、権力、不条理を滅ぼし、そして最後の敵である死をも滅ぼされるのである。(1コリント15:20-26)

この主に在る者は、決して滅びる事は無い。

2010年 9月5日

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉創世記1:24-31

賛美この日は主がつくられた (ppt15 リビングプレイズ25)

使徒信条会衆一同

交読文30

賛美鹿のように (ppt 4 リビングプレイズ69)

メッセージ創られたとおりに

祈り

賛美ぼくの宝物 (ppt 16)

主の祈り会衆一同

祝福の祈り会衆一同

報告7日(火)より鄭先生が韓国からおいでになり、次週第2礼

拝は聖餐礼拝となります。

## 祈祷課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- 主に忠実な聖徒達が30名以上与えられるように

## 祝福の御言葉(エペソ2:4-10) 空欄に自分の名前を入れて祈りましょう

あわれみ豊かな神は、私たちが愛して下さったその大きな愛のゆえに、罪過の中に死んでいたをキリストとともに生かし、—— が救われたの

は、ただ恵みによるのです。——キリスト・イエスにおいて、ともによみがえらせ、ともに天の所にすわらせてくださいました。

は、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。

行ないによるものではありません。だれも誇ることのないためです。

は神の作品であって、良い行ないをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、が良い行ないに歩むように、その良い行ないをもあらかじめ備えて下さったのです。

の主・イエスキリストの名前によって。 アーメン！

## メッセージ(礼拝説教)概要

人は元々神の似姿であり滅びとは何の関係も無く、神と共に永遠に生きるよう創られている(創世記1:24-31)が、悪魔の誘惑によって人に罪と死が入ってしまった。

それを憐れんだ神は人となって来られ、人としての誘惑や苦勞を全て嘗め、人の罪の身代わりとなって死なれ、よみがえり、それを信じる者は、罪と死から開放されて神の子とされる特権が与えられるように、取り計らってくださいました。——これが福音の本質である。

聖書は人の設計図であり、人が歩むべき道を示した地図でもあり、愛の込められたラブレターでもある。人間は元々滅ぼされるべき存在ではなく、神に似た者として、神と共に永遠に生き、全て創られたものを支配するように創られている(創世記1:26-31)。

「神から独立して生きる」という生き方は実に設計外、サポート外であり、神から離れた生活には、当然、様々な障害が生じる。

人間は、神の創作物の中で最高の、愛すべき存在であり(創世記1:31)、神の作品であって、良い行ないをするためにキリスト・イエスにあって造られ、良い行ないをもあらかじめ備えられている。(エペソ2:10)

例えば何かの芸術作品を作り、その作品は自らの息吹を丹念に込め、自らの性格や品性を見事に表現した、最高傑作であったとすして、もしそれを台無しにされたとしたら、どんな思いがするだろうか。

サタンは神の最高に良い作品である「人」をダメにした事で、神ご自身の品性につばきをかけたのである。サタンが赦されるべきではないもう一つの理由は、彼は人間と違い、誰にも唆されず、自ら墮落し、罪を犯して神に逆らい、自分だけが滅びるのに飽き足らず、周りの天使や人間までも道づれにした事だ。

エゼキエル28章はツロの王に対する預言であるが、12節以降は明らかに「人間」に対するものでは無く、サタンについての記述である。

神は元々サタンを「油注がれたケルブ」すなわち特別な役割を果たす天使として創られた。

彼は様々な宝石の飾りで覆われ、美の極みであり、タンバリンと笛などの楽器が予め整えられ、与えられた。とあるため、彼は神を賛美するための指導的で特別な役割が与えられていたようである。

しかし彼の商い(やり取り)が繁盛するとそのやり取りの中心は暴虐で満ちるようになり、罪を犯したため、主は彼を汚れた者と見なし、追い出した。(16節)

彼は指導する事の味を知り、神の座に座って支配し、高き者として扱われたい、と思うようになった。

一人一人が各々の力量に応じて神に向かって奏でた素晴らしいメロディ、調和、美しさを、あたかも全て自分のものであるかのように、自分自身が栄光そのものになったかのような錯覚に陥り、自ら創られる前から整えられていたタンバリンや笛さえも、あたかも自分のものであるかのように高ぶった。

それ故彼は地に投げ落とされ、火で焼き尽くされる運命となり、自らの滅びが近い事を知って、一人でも多くの者を滅びの道連れにしようと、躍起になっているのである。

もし人が様々な良い物で飾られているとしたら、それは神のためであり、予め与えられ整えられた賜物、能力があるのなら、神をあげめるためである。

神が、私達が産まれる以前から生きる環境を整え、母の胎の内でも能力や特性を仕込み、産まれた後もずっと導いておられたのは、キリストのためである。

一人一人は各々を与えられた力量に応じて、「私達の生き様」というメロディを主のために 奏でるべきだ。サタンのように、自分が今生かされている本質を忘れたり、神のために奏でるべきメロディを自身の栄光のために奏でたり、あるいは、神から離れて「設計外」の生き方をしてはならない。

思うべき限度を越えて思い上がりせず、むしろ、神がおのおのに分け与えて下さった信仰の量りに応じて、神の作品である私達は、神の作品らしく、あらかじめ備えられた良い行いをするべきである。

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	ピリピ 4:1-7
賛美	セレブレイトジーサス(ppt17 ミクダム131)
使徒信条	会衆一同
交読文	48
賛美	御言葉に歩めるように (ppt9 ノア)
メッセージ	味噌からにじみ出た愛
祈り	
賛美	その時若い女も (ppt 24)
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	会衆一同
報告	

祈祷課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 奉仕者が与えられるように:礼拝準備、賛美リード、奏楽
- 主に忠実な聖徒達が30名以上与えられるように

祝福の御言葉(イザヤ 46:16,23) 空欄に自分の名前を入れて祈りましょう

見よ。わたしは手のひらに\_\_\_\_\_を刻んだ。  
\_\_\_\_\_の城壁は、いつもわたしの前にある。  
王たちは\_\_\_\_\_の世話をする者となり、王妃たちは\_\_\_\_\_のうばとなる。  
彼らは顔を地につけて\_\_\_\_\_を伏し拝み、\_\_\_\_\_の足のちりをなめる。  
\_\_\_\_\_は、わたしが主であることを知る。  
わたしを待ち望む者は、恥を見ることがない。  
\_\_\_\_\_の主・イエスキリストの名前によって。 アーメン！

メッセージ(礼拝説教)概要

先週、静岡の姉妹から天声の兄弟姉妹に、と、サムジャンという合わせ味噌をいただき、賞味した。ゆでたキャベツにごはんを乗せ、その味噌も乗せて食べるという韓国風の食べ方があるのだが、シンプルであるがとても旨く、野菜もおいしく摂れ、身も心も温かく幸せな気持ちに包まれつつ頂いた。その幸せさは、高級レストランなどお金を積む事では決して味わえない、「聖徒を思う愛」という、世の何物よりも尊い「素材」から来るものだ。

今、この世で生きていて、聖徒の為に愛を込めて料理を作ったり、作ってくれたものを味わうことができるのは、「生きていて良かった」と思えるほどの幸せがあり、天における愛に満ちた交わりの前味わいである。聖徒達の心の籠った**捧げものは香ばしいかおり**であって、**神が喜んで受けてくださる供え物**である。(ピリピ 4:18)

御父が求めるいけにえは、高級食材でも膨大なお金でもなく「心」の込められたものである。御父は何よりも富んでおられるお方なので私達がいかに富を積んで捧げたところで、たかがしれている。主が人を間違いを犯さないロボットとして造らず、間違いを犯すかもしれない自由意志を持った「人」としておつくりになったのは、「心から」主を選択し、愛し、敬う者を、求めておられるからだ。天の御国は、確かに高級素材に満ちたリッチな所ではあるが、むしろ、愛の籠った贈り物でいっぱい、心が暖くなる所である事の方が「売り」であり、私達に喜ばしく楽しみである事なのだ。

**まことの食物はキリスト**であり(ヨハネ 6:55)、その食物にはどれほどの愛が込められているか。それは**命を捨てるほどの愛**が込められており、その食物は決して無くなる事無く、乏しくなる事も無い。5千人以上にパンを与えた奇跡において、主は、その奇跡の源、愛の源であるイエスキリストを本来求めて欲しかったのだが、大勢の群集が求めたのは、実に、食物のパンであり、彼らが主を探して来たのは、食べて無くなる食物のパンを食べ、満腹したからだ。(ヨハネ 6:26) どれほど主は寂しい思いをされたであろうか。私達は無くなるパンではなく、まことの食物である愛の籠ったイエスを、心から感謝しつつ頂くべきである。

サムジャンで食事しながら与えられたもう二つの事は、味噌がおいしいからといって、味噌「そのもの」が脚光を浴び奉られてはならず、味噌の作り主こそ感謝されるべきである事。そのおいしい味噌を使い切ってしまうのを恐れるよりも、味噌の作り主に作り方を聞くべきである、という事。

その時々与えられた人、いただいた恵みなどがなくなる事を恐れる傾向があるが、それは無くなるパンをいつも与えてくださいと求めて来た寂しい人々のようなものであり、その恵みを下さった根源なるお方により頼み、そのお方が愛をもって、無尽蔵に与えてくださる事に信頼すべきである。

私達は、キリストのからだであり、それぞれは器官であるが故、誰か特別な人だけが作り主を差し置いて大きく取り上げられてしまうのは良くない。体はどこかをケガした時、そこに血小板や白血球が集まるが、血小板や白血球は普段何のために役に立つのか分からなくても、ケガをした時、これらはそこに引き寄せられるように真っ先に集まり、血小板は傷を塞ぎ、白血球は進入して来た悪いものを殺すために、機能する。どこの器官が無くなっても、体はやってゆけないし、どこかだけが大きくなったり増えたりしても病んでしまう。

キリストの器官は愛の機能体であり、その内の誰か一人でも欠けてしまったら、大変であり、また、その誰かが傷ついてしまったら、周りの器官が全力を持ってそこをいたわり、癒す事に全力を注ぐ。一切の賜物の源であり、愛を持って一つとしてくださるキリストこそ、全ての栄光を受けるに相応しいお方で

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	ピリピ 4:1-7
賛美	その時若い女も (ppt 24) ミクタム12
使徒信条	会衆一同
交誦文	44
賛美	目を上げよ(ppt8 ミクタム70)
メッセージ	いのちから遠ざける「人の言い伝え」
祈り	
賛美	イエスは勝利を取られた (ppt 18 ミクタム86)
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	会衆一同
報告	

### 祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行なう教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- ・主に忠実な聖徒達が 30 名以上与えられるように

### 祝福の御言葉 空欄に自分の名前を入れて祈りましょう

だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。(2コリント 5:17)

イエス・キリストを受け入れた人々、すなわち、その名を信じた\_\_\_\_\_には、神の子どもとされる特権をお与えになった。

\_\_\_\_\_は、血によってではなく、肉の欲求や人の意欲によってでもなく、ただ、神によって生まれたのである。(ヨハネ 1:12,13)

\_\_\_\_\_はバプテスマによってキリストと共に葬られ、またキリストを死者の中からよみがえらせた神の力を信じる信仰によって、キリストと共によみがえらされたのです。(コロサイ 2:12)

\_\_\_\_\_の主・イエスキリストの名前によって。 アーメン！

あり、この方のために私達は在るのである。

### メッセージ(礼拝説教)概要

バプテスマのヨハネも、イエス様も、パリサイ人を「まむしの子」と呼んだ。(マタイ 3:7、23:33)

まむしとは噛まれれば死に至る毒蛇であるが、なぜパリサイ人達は「まむしの子」と呼ばれたのか。まむしはサタンを意味する最たる動物だが、彼らは人を福音から遠ざける事に、非常に役立っていた。彼らは膨大な良い悪いの基準を押し付け、安息日が安息の日でなく重苦しい日、重荷の日と思わせるほど、色々な「言い伝え」によって付け足してきた。

律法の要求するレベルは誰にも到達し得ない。

律法は神の要求には人間は誰も答えられない事を教え、そうしてキリストへと導く養育係のようなものである。それなのにパリサイ人達は、律法を全て守りきれない事の言い訳をするために、神様から求められてもいない別の戒めや規則を「言い伝え」として作り、それを一生懸命守り行う事によって、全ての律法を守りきれない「やましき」を補填している。

イザヤ 28:9-13 には戒めに戒めを加える者達の様子が書かれてある。

彼らは乳離れた子、乳房を離された子に教えようとしているのか、と主は質問しているが、純粋なみことばの乳(1ペテロ 2:2)を離れて、戒めや規則の迷路に迷い込んではいならない。

主は人にいこいを、疲れた者には休みを与えたかったのに、それでも戒めや規則に迷い込もうとする者はうしろざまに倒れ、手足を折られ、わなにかかって捕らえられてしまう。(13節)

パリサイ人は、人間の言い伝えによって逆に御言葉から人を遠ざけて人間中心の教えへ誘い込み、結果イエスからも人を遠ざけさせ、滅びに至らしめるから、イエスやヨハネに「まむし」呼ばわりされたのである。人は「言い伝え」や「言い訳」を大々的に喧伝し、神の要求を守れない事の「しょうがなさ」へと持っていかうとするが、神が目を留めるのは、あくまで御言葉を「守ったか、守っていないか」である。

律法を守り切るのは人にはできない。しかし、神にはできない事は無い。

律法を妥協したり意識的に逆らうのではなく、律法を守れない自分を認め、救いが必要である事を告白し、律法を成就された主イエスを信じ、そのイエスの内に入れられ、全く新しいいのちを歩むべきである。

宗教という言葉の響きに窮屈さ、いかがわしさといった不健全なイメージが付きまとうのは、宗教を信じている人達が、何らかの理想を固守し、いのちの望むまま生きる事ができない事例を多く見ているからだ。キリストを信じた者達は、キリストを信じた事により、生まれながらの古いいのちが死んで、全く新しいいのちに生まれ変わった、神の子としての新しいいのちの内へ歩む者達である。(ヨハネ 1:12,13)

古い命では本能的に罪を犯してしまい、良い事は努力しなくてはできなかったものが、新しいいのちでは、罪を犯す事を本能的に嫌がり、ごく自然に良い事をしてしまうようになる。

それは、信じる者にはキリストのいのちが種のように蒔かれ、キリストの性質を帯びようになるからである。そのいのちは宗教者的不自然さ、無理矢理さは無く、夜は寝て、朝は起き、そうこうしているうちに育つ。どのようにしてか、人は知らないが、苗となり、穂を結び、実が熟する。(マルコ 4:26-29)

神の国は自分の生来的な力の頑張りでは決して育たず、ただキリストのいのちの原動力によるのである。

主イエスが来られたのは、疲れた者、重荷を負っている者を休ませてあげるためであって、さらに重荷を負わせ難い事を要求するためではない。(マタイ 11:28)

もしイエスを信じた事によって重荷を負っているような感覚、難しい事を要求されているような疲れを覚えているなら、宗教的・人間的な頑張りをしていなかったか、自分の歩みを振り返る必要がある。

イエスは心優しくへりくだっているが、自分の力で神の要求する歩みを為そうとするのは、傲慢である。

イエスとくびきを負い、イエスと歩調を合わせて一緒に歩めば、たましいに安らぎを得る事ができるのである。

主と共に負うくびきは負いやすく(χρηστός クレーストス: 快い、楽、恵み深い、優しい)荷は軽い。(11:30)

イエスと共なるいのちの歩みは、軽く、快く、ラクで、恵み深く、優しいのである。

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	詩篇107:1-16
賛美	ハレルヤ神の聖所で (ppt 28) ミクタム26
使徒信条	会衆一同
交読文	6
賛美	鹿のように(ppt4 リビングプレイズ69)
メッセージ	いのちから遠ざける「人の言い伝え」2
祈り	
賛美	御名をかかげて (ppt 23)
主の祈り	会衆一同
祝福の御言葉	会衆一同
報告	

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- ・主に忠実な聖徒達が 30 名以上与えられるように

祝福の御言葉(ガラテヤ 2:19,20) 空欄に自分の名前を入れて祈りましょう

キリストにあって、、、  
 \_\_\_\_\_ は神に対して生きるために、律法に対しては律法によって死んだのです。  
 \_\_\_\_\_ は、キリストと共に十字架につけられています。  
 生きているのは、もはや \_\_\_\_\_ ではありません。  
 キリストが \_\_\_\_\_ の内に生きておられるのです。  
 \_\_\_\_\_ が今、肉において生きているのは、\_\_\_\_\_ を愛し、\_\_\_\_\_ のために身を  
 献げられた神の子の信仰によるものです。  
 \_\_\_\_\_ の主・イエスキリストの名前によって。 アーメン！

メッセージ(礼拝説教)概要

ファリサイ派の人々は「昔の人の言い伝え」を守らない事でイエスの弟子達を非難した。(マルコ 7:5-13)

それに対しイエスは「あなたたちは神の掟を捨てて、人間の言い伝えを固く守っている」と言って非難し、「父と母を敬え」という十戒の一つを例に取って、「この場合は守らなくて良い」という例外を設ける事で神の言葉をないがしろにしている事を明らかにした。現代も、色々な形を取った「人間の言い伝え」が数多くはびこり、御言葉に人間の編み出した学問をパン種のように付着させ膨張させては、人々を神から引き離し、人間の教えへと目を向けさせている。

人間の教えというパン種が私達の身近に尤もらしく浸透している例を挙げてみたい。第2次世界大戦中のヨーロッパで、ユダヤ人達はナチスドイツの迫害に遭っている時、一部の勇敢なオランダ人はユダヤ人をかくまい、「ここにはユダヤ人はいません」と偽って、彼らの命を助けた。さて問題。聖書には「偽ってはならない」と書いてあるが、このオランダ人は罪あり、とされるのだろうか？嘘も方便、良い嘘もあるのだろうか……。しかし、聖書に「偽ってはならない」と書いてある以上、偽るのは罪なのである。ここで「人間の教え」は、次のように声高に叫ぶ。「罪なき人の命を助けた功績は大きいし、身の危険を冒して憲兵に対処した勇気もすごいではないか」「聖書でも遊女ラブが嘘でユダヤ人を助けたし、ダビデもミカルの嘘によって助かったではないか。」「『ここにユダヤ人がいます』と本当の事を言って、ユダヤ人を見殺しにしろというのか」、等等。尤もらしく聞こえる内容は置いておき、こうした議論は「善し悪しの判断基準に閉じ込め」、「御言葉から目を背けさせ」、「人間第一主義に走らせようとする」性質がある事に気付いたのだろうか。私達はイエスの嫌われた「人間の言い伝え」そのものが何であるかに、意外と気付かないものであり、常に御言葉による計測飛行をしているか、感覚による目視飛行をしていないかに、注意する必要がある。私達の御言葉に対する正しい対応は、「はい」は「はい」、「いいえ」は「いいえ」、それ以外は悪から来る。

神の要求を全部守らなければ救われないのであろうか？もしそうなら、誰も救われないし、私もとうの昔に投げていた事だろう。しかし感謝すべき事に、救いは行いによるのではない。聖書が初めから提示している人間の歩む路線は、善悪の路線か、いのちの路線か、どちらかであり、福音は「この場合はこうせよ/するな」という善悪判断の集大成ではなく、いのちの路線である。救いに至るには、御言葉をしっかり受け止め、まず自分達は神の基準を達し得ない事、違反がある事を認める所から始まり、そして救いが必要である事を認め、そしてイエスへと導かれるのである。(ガラ 3:19-29) 故に、御言葉の元の意味を希釈してはならないし、神は厳しすぎる、ひどいと言って、否定してはならない。

私達が義とされるのは、行いによるのではなく信仰によるものであり、また「信じれば救われる」という、いわば誰にでもできる救いが与えられたのは、恵みによる。(エペソ 2:1-10) その信仰はどのようにしてもたらされるか。ガラテヤ2: 16、2: 20は「キリスト・イエスを信じる信仰」と新改訳では訳されているが、原文はピステイス・クリストゥすなわち「キリストの信仰」であり、私達人間の信仰ではない。「一人の従順によって、多くの人の不従順が赦される」(ローマ 5:19)とあるように、人間が赦されたのは実にキリストの従順によってであり、人の従順によってではない。救いも赦しも全ては信仰の創始者であり完成者なるキリストから出ており、キリストへと行き着くのである。

私達が生きることを止め、私達の内でもキリストに豊かに生きていただく事によって、宗教臭い人間的な頑張りから開放されるのである。

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	詩篇131
賛美	高くかかげよ(ppt 27) ミクナム43
使徒信条	会衆一同
交読文	19
賛美	満たしてくださる方(ppt 5)
メッセージ	天の奇跡を求めるよりも、空模様を見分けよ(マタイ16:1-4)
祈り	
賛美	この日は主が造られた(ppt 15) リビングプレイズ 25
主の祈り	会衆一同
祝福の御言葉	会衆一同
報告	

祈祷課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- 主に忠実な聖徒達が30名以上与えられるように

祝福の御言葉(ゼカリヤ2:8-11) 空欄に自分の名前を入れて祈りましょう

イエスキリストにあって・・・。  
 万軍の主はこう仰せられる。『\_\_\_\_\_に触れる者は、わたしのひとみに触れる者だ。見よ。わたしは、こぶしを彼らに振り上げる。彼らは自分に仕えた者たちのとりことなる。』と。  
 このとき、\_\_\_\_\_は、万軍の主が私を遣わされたことを知ろう。  
 \_\_\_\_\_よ。喜び歌え。楽しめ。見よ。わたしは来て、\_\_\_\_\_のただ中に住む。  
 ——主の御告げ。——  
 その日、多くの国々が主につき、彼らはわたしの民となり、わたしは\_\_\_\_\_のただ中に住む。\_\_\_\_\_は、万軍の主が私をあなたに遣わされたことを知ろう。  
 \_\_\_\_\_の主・イエスキリストの名前によって。アーメン！

メッセージ(礼拝説教)概要

パリサイ人たちがやって来て、イエスに議論をしかけ、天からのしるしを求めたが、イエスは霊において深く嘆息し、わずかな言葉を言って彼らをそのまま残し、船に乗ってどこかへ行ってしまった。(マタイ16:1-4) イエス様の対応はたったそれだけであるが、それで良いのだろうか。  
 議論を仕掛けてくる人へのイエスの方法は、論破する事ではなく、真理を語って立ち去る事。そもそも彼らはそれ以前に、イエス様の色々な奇跡のうわさを数多く聞いてきたはずであるし、この直前にもイエスは4千人にパンを与える奇跡を行ったばかりだった。  
 彼らは、イエスが悪霊を追い出した時もベルゼブルの力によるものだと揶揄したし、死人を蘇らせる奇跡の時も自分よりも目立つイエスを殺そうと企んだだけだし、また、イエスご自身が蘇られた時も、彼らは兵士達を買収して「この事を言うな、寝ている間に弟子達が持ち出したのだと言え」と情報を捏造したものである。現代でも、同じように挑発してくる輩はいるが、十字架のことばは、人間から見れば愚かである。しるしを見せても無駄な者達への、私達の取るべき対応は、イエスの言葉を言い残して立ち去る事だ。御言葉の真理をそのまま語り、議論したい人はそのままそこに残しておいて、私達は船に乗ってイエス様が行かれる所へと、一緒に行ってしまう方がいいのである。

さて、パリサイ人達は、天の大いなる印を求めたのに対し、イエスが答えたのは、夕焼けなら晴れ、朝焼けなら雨という、万国共通・昔ながらの暮らしの知恵だった。  
 彼らが天からのしるしという「非日常」を要求してきたのに対し、イエスが「空模様の見分け」という、いわば「日常」を切り返したのは、私達は、大いなるしるしという手の届かないものを追いかけるべきではなく、日常の、すぐ手が届く、万国共通・昔ながらの「御言葉」に目を留めるべきである事を伝えるためではなかろうか。時代のしるしとは「夕焼けなら晴れ、朝焼けなら雨」と同じで、「御言葉のあれが起きればこうなる」事である。当時の時代のしるしとはどういふものであろうか。

メシヤが現れる前にエリヤが現れ、人々の心を整えさせる事がマラキ4章に書かれており、主の前で山や谷が埋められ、でこぼこ道は平らになる事が、イザヤ40章にて語られていた。  
 これらの預言の通り、まずパプテスマのヨハネが現れ、彼によって整えられた民がイエスへと導かれた。「道を整える」とは悔い改めて心を整え、主の救いに備える事であり、この悔い改め無しにイエスの道を進もうとしても、山や谷のでこぼこにつまづきっぱなしとなってしまう。  
 私達はまず、悔い改めて主の前に道を整え、大いなる目新しいものではなく、身近にある御言葉に目を留めるべきである。

主は、あなたたちに与えられるしるしは「ヨナのしるし」だけであるとされた。  
 「ヨナのしるし」とはすなわち、主は死んで葬られ、黄泉に降り、3日目に死人のうちよりよみがえられた事。私達は、イエスにあつて死に、よみがえり、新しいいのちで新しい人生を生きなおす事ができるという、偉大な「ヨナのしるし」に留まるべきであり、それ以上のしるしは無いし、求める必要も無い。  
 昔は預言者や色々な方法で語られたが、この終わりの時には、御子によって、私たちに語られた。(ヘブル1:1, 2 Darby訳では「in the person of the Son」御子の人格において。)  
 この時代、御子イエスというお方のご人格によって、既に、語られ「た」(完了形)。私達が模範とすべきはイエスの繊細なご人格、イエスの優雅な品性である。  
 御言葉であるキリストによって、既に福音は完成しており、それに付け加えられるものは無い。  
 今の時代、私達が求めるべきは、偉大な先生達の新しいことばや、大いなるしるし、不思議といったものではなく、みことばなるキリストというお方であり、ここを離れて右往左往してしまうと、本質をはずしてしまう。

天の大いなる徴ではなく、御言葉なるイエスを信じる皆さんであるように、イエスの名によって祝福します！

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	ゼパニヤ 3:14-17
賛美	イエスは勝利を取られた (ppt 19) ミクダム60
使徒信条	会衆一同
交読文	27
賛美	主に感謝せよ(ppt12)
メッセージ	救いの勇士 (2歴代20章 2 <sup>nd</sup> Chronicles 20:1-30)
祈り	
賛美	主に感謝せよ(ppt12)
主の祈り	会衆一同
祝福の御言葉	会衆一同
報告	

祈祷課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- 主に忠実な聖徒達が 30 名以上与えられるように

祝福の御言葉 空欄に障害となっている事を入れて祈りましょう

今、私に障害となっている \_\_\_\_\_ をご覧ください。この \_\_\_\_\_ は、イエスを主とした私に、侵入する事を、あなたがお許しにならなかった事です。ご覧ください。 \_\_\_\_\_ が私にしようとしていることを。 \_\_\_\_\_ は、あなたが私に得させてくださった地から、私を追い払おうとして来ました。私たちの神よ。あなたはそれを裁いてくださらないのですか。私に立ち向かって来たこの \_\_\_\_\_ に当たる力は、私にはありません。私としては、どうすればよいかわかりません。ただ、あなたに私の目を注ぐのみです。」(2歴代20:10-12)

あなたが私の代わりに \_\_\_\_\_ と戦って下さる事を、私の主・イエスキリストの名前によって信じて感謝します。アーメン！

2歴代誌 20 章にはヨシャパテ王の活躍が書かれてある。それまでの王たちは異国の神々や偶像を拝んでいたが、ヨシャパテ王は天と地を創られたまことの神様に頼っていた。私達は祈る時は、大抵まず自分の願いを述べるものだが、彼はまず、主がどういうお方であるかを信仰によって告白し(6 節)、主は天におられ全ての異邦の王国、全世界を統べ治めるお方であり、対抗できる者は無い、と、信仰によって宣言した。次に彼は、御言葉を盾にして祈り(7-9 節)、彼の先祖アブラハムに永遠にこの地を与えて下さったという約束を持ち出し、アブラハムの子孫である自分達がそこから追い出されるのはおかしい、と、告白した。私達も御言葉を盾にとって祈るべきである。病の内にある場合は、箴言 3:8 やイザヤ 53 章を、貧しさに対しては 2 コリント 9:8-11 やピリピ 4:19 を盾に取って祈る事ができる。次に、やっと現在の彼我の状況を訴え、最後に彼の願いを申し立てた。(10-12 節) 王と民が心をあわせ祈った時、主は具体的な指示と、恐れなくて良い事がある人を通して語った。私達はもしかしたら神様の御声を具体的に聞くという事は、あまり無いかもしれないが、心を尽くして祈った結果、「神様は答えてくださった」と分かった瞬間が来て、言葉では言い表せなくても「大丈夫だ」と分かり、世のものでは無い平安に包まれたという経験を持つクリスチャンは、たくさんいる。私達の戦いは主のものであり、御心に沿っていない勝利はかえって人を不幸に陥れる結果になってしまう。自分の願いを主に明渡し、御心のままになさって下さいと祈るなら、私達にはできない勝利が与えられる。

イスラエルの人々は、大いなる戦いの日、主が示して下さった通り出陣した。地平線を埋め尽くすような大軍団を前に、イスラエル軍はどのような陣を張ったか。なんと、その大軍と自軍との間に、全く武装をしていない聖なる飾り物をつけたレビ人の聖歌隊を配備した。恐らく、それを見た敵軍は、あざ笑い、罵倒し、飲み込んで奪い取ってやろうと押し寄せた事だろう。戦術的に見ればこれほど無謀な事はないが、聖歌隊は進み出て「主に感謝せよ。その恵みはとこしえまで」と、喜びの声をあげた時、主は伏兵を備え、イスラエルの敵を襲わせた。主の助けは私達の思いもしなかった隠れた所から現れ、私達と敵との間に立ちはだかり、戦って下さる。結果、敵は敵同士で戦い合い、互いに滅ぼし合い、一人残らず死体になって横たわっていた。(24 節)

分捕りの時、分捕るための武具や高価な物があまりにも多くて、3 日もかかった。一人が一つの死体から分捕るのに多く見積もって 30 分かかるとし、それを 1 日 12 時間働いたとすると、1 日で 24 体、3 日で 72 体分の死体から分捕った事になる。敵は少なくとも自軍の 72 倍はいた事になるが、戦わずに勝利したのだ。

もちろん、敵を前にしたら戦わずに賛美するというのを、そのままマネしたら必ず勝てるという訳ではない。一人一人に与えられた戦いと神の救いの方法は違う。しかし、心を尽くしてイエスキリストの名によって祈るなら、人知を超えた平安が与えられ、人の方法ではない救いが来る。(ピリピ 4:6,7) 私達は救ってくださる方、救いの勇士である主イエスキリストに拠り頼まないと、損である！神様が私達の代わりに戦って下さるなら、例え 72 人が自分に対抗して攻め立てても恐れる事は無い。

戦いから 4 日目、イスラエルの民はこぞって主を褒め称え、喜んだ。周りの国々は、主はイスラエルの敵と戦われたということを知り、神の恐れが彼らの上に臨み、そのようなわけで、ヨシャパテの治世は平穏であった。主に信頼し、主ご自身が戦って下さるなら、大いに分捕りができて、生涯安泰。周りはそれを見て恐れる。主により頼むという事がどんなに素晴らしい事かを知り、その主の素晴らしさを味わい尽くす皆さんであるように、イエスの名によって祝福します！！

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	ゼパニヤ 3:14-17
賛美	イエスは勝利を取られた (ppt 19) ミクタム60
使徒信条	会衆一同
交読文	21
賛美	主に感謝せよ(ppt12)
メッセージ	救いの勇士 (2歴代20章 2nd Chronicles 20:1-30)
祈り	
賛美	主に感謝せよ(ppt12)
主の祈り	会衆一同
祝福の御言葉	会衆一同
報告	

祈祷課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- 主に忠実な聖徒達が 30 名以上与えられるように

祝福の御言葉 空欄に障害となっている事を入れて祈りましょう

今、私に障害となっている\_\_\_\_\_をご覧ください。この\_\_\_\_\_は、イエスを主とした私に、侵入する事を、あなたがお許しにならなかった事です。

\_\_\_\_\_が私にしようとしていることを。

\_\_\_\_\_は、あなたが私に得させてくださった地から、私を追い払おうとして来ました。私たちの神よ。あなたはそれを裁いてくださらないのですか。私に立ち向かって来たこの\_\_\_\_\_に当たる力は、私にはありません。

私としては、どうすればよいかわかりません。ただ、あなたに私の目を注ぐのみです。」(2歴代20:10-12)

あなたが私の代わりに\_\_\_\_\_と戦って下さる事を、私の主・イエスキリストの名前によって宣言します！

アーメン！

メッセージ(礼拝説教)概要

ネブカデネザル王は約27mの金の像を作り、これを拝めと皆に命令した。(ダニエル3章)

ネブカデネザル王は自分の構築した像を拝め、さもなければ殺すと言ったが、人は自分の編み出した主義主張という偶像に跪く事を要求し、さもなければ殺したい、という欲望がある。

さらにそういう人の立てたそういう仕組みを利用し、気に食わない人を告げ口し、殺させるという手も用いるシャドラク・メシャク・アベデネゴは像に跪かない事を告げ口され、彼らの主張(3:16-18)を聞いたネブカデネザル王は怒り狂い、彼らを投げ込むための炉を7倍熱くせよ、と命じた。

彼らは激しく燃える火の中に落ちたが、火は彼らを害せず、それどころか、第四の者が彼らと共にいて守っていた。

信仰を守り通すにあたって、火のような試練の中をくぐる事があっても、主は第四の者を遣わして守り、髪の毛も上着も損なわれる事が無く、火のおいもしないまでに守って下さるので。

そこでネブカデネザル王は彼らの神をほめたたえ、このまことの神を侮る者には手足を切り離し、その家をごみの山とする命令を發布し、そして彼らはバビロン州で大いに栄えた。

さて、チリ鉱山の落盤事故で33人が救出されたが、そのほとんどは敬虔なクリスチャンであり、彼らはホセ・エンリケス(Jose Henriquez)という福音派の牧師のもと、毎日2回、12時と6時に礼拝を持っていたという。

最年少であったジミー・サンチェスは、閉じ込められたのは33人だったが、34人目がいた、と語った。

人間の汚らしい欲望によって、火の中に落とされても、地中深くに落ちても、主に信頼する者達には、プラス1人の神様からの使いがいて、その方が困難な状況から守り、救い出して下さるのである。

新聞やネットにて、写真つきで大いに宣伝されたあのチリ国旗をあしらった褐色のTシャツには、左腕に「JESUS」、正面にはスペイン語と英語で「神様ありがとうございます」と書かれており、背中に詩篇95:4の「神に栄光と敬意をささげよう。地の奥深くも山々の頂さも、神の両手の中にあるのだから」という言葉が書かれてあった。

このTシャツは、ホセ・エンリケスの家族からキャンパスクルセード・フォー・クライスト・チリへの依頼に基づいて作られ、この団体は、Tシャツと聖書、「イエス・キリストは墓のような洞穴の奥から、岩を動かして復活する」という聖書をもとに作られた映画を地下へ提供し、作業員を励ましていた。

実は、ホセ・エンリケスは20年ほど前にも洪水被害に遭い、水中で40時間もレスキュー隊を待つ、という体験をしていて、命の危険の中では主を信じて救いを待つ、という、素養があらかじめ培われていた。

生涯に2度も、閉じ込めによる命の危機が訪れるのは、よほど運が無いという見方もあるが、主が栄光を現すために彼にあらかじめそのような経験をさせた、という主の大いなるご計画があったのだ。

私はこの面において運が無い、と思われる方は、もしかしたら主のご計画があるのかもしれない。

彼はインタビューで、「救出される前の最後の数時間はどのように過ごしましたか?」という質問に、「私はいつもと同じように、現実に生きておられ、永遠にすべてを支配されている主イエスキリスト様に信頼し続けました。」と応え、特に「いつもと同じように」と強調している。

キリスト者として、どんな時でもいつもと同じように礼拝している事こそ、主の御技と大きな証の源になる。ダニエルは例え国の法律が礼拝を禁止されるような状況になっても、いつもと同じように礼拝する事を止めなかった結果、ライオンの穴に投げ込まれることもあったが、主の大いなるみわざがあり、結局王は、ダニエル

の神に震えおののくよう命令を發布している。

主が大いに伝えられ栄光を受けられるには、私達力や言葉巧みさは必要なく、私達がいつものように礼拝している毎日から生み出される。

私達はもしかしたら火や水の中、地の底、獣のいる檻に落とされる事があるかもしれないが、主は全ての災いの中から、御使いを遣わして救い出され、災いさえも主の栄光のために用いる事がお得意になるのだ。この主により頼むという事がどんなに素晴らしい事かを知り、その主の素晴らしさを味わい尽くす皆さんであるように、イエスの名によって祝福します！！

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	ヨハネ 13:12-15、34,35
賛美	主の教えをよるこびとし (ppt 15) ミクタム21
使徒信条	会衆一同
交読文	1
賛美	御言葉に歩めるように(ppt10)
メッセージ	あなたは誰と戦っているのか(2コリント 10:3-6)
祈り	
賛美	御名をかかげて(ppt21)
主の祈り	会衆一同
祝福の御言葉	会衆一同
Ⅱコリント13:11-13	パスター
報告	

祈祷課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- 主に忠実な聖徒達が 30 名以上与えられるように

祝福の御言葉 空欄に障害となっている事を入れて祈りましょう

今、私に障害となっている \_\_\_\_\_ をご覧ください。この \_\_\_\_\_ は、イエスを主とした私に、侵入する事を、あなたがお許しにならなかった事です。ご覧ください。 \_\_\_\_\_ が私にしようとしていることを。

\_\_\_\_\_ は、あなたが私に得させてくださった地から、私を追い払おうとして来ました。私たちの神よ。あなたはそれを裁いてくださらないのですか。私に立ち向かって来たこの \_\_\_\_\_ に当たる力は、私にはありません。

私としては、どうすればよいかわかりません。ただ、あなたに私の目を注ぐのみです。」(2歴代20:10-12)

あなたが私の代わりに \_\_\_\_\_ と戦って下さる事を、私の主・イエスキリストの名前によって宣言します！

アーメン！

メッセージ(礼拝説教)概要

ある映画において、見えない敵から攻撃を受け、混乱してやみくもに同士討ちしている所に、上官が「落ち着け、敵はどこだ、おまえ達は一体誰と戦っているんだ」と言うシーンがある。私達も、見えない敵に攻撃されて混乱に陥り、やみくもに兄弟姉妹を傷つけ、平和であるべき日常に無駄な争いを持ち込み、無駄な時間やエネルギー、お金を注ぎこむような事が無いだろうか。まず、戦うべき相手を正確に補足し、正しく攻撃する知識を身につけてはならない。

敵は、目に見える兄弟姉妹ではなく目に見えないサタン

「わたしたちの戦いは、血肉を相手にするものではなく、支配と権威、暗闇の世界の支配者、天にいる悪の諸霊を相手にするものなのです。」(エペソ 6:12)

権威も支配も諸霊も目で見ることができないが、私達が格闘すべき相手は血肉(人間)ではなく、そうした見えない存在である事が、この御言葉から分かる。

サタンは物陰から矢を射掛けて人を攻撃しては隠れ、攻撃を受けた人は振り向いた時たまたまそこにいた人を攻撃し、攻撃された人は訳も分からず攻撃されたのでやり返し、、、といった、本質から逸れた空回りの内紛を私達兄弟姉妹に起こさせる。

もし今、誰か具体的に兄弟姉妹へ憎しみを募らせているなら、あるいは、穢れた思いに囚われているなら、目に見える兄弟姉妹ではなく、物陰から矢を射掛けて来た悪しき者の存在に留意すべきであり、攻撃の大元である支配や権威といった、見えないものにこそ目を注ぐべきである。

攻撃の矢を防ぐことができるのが信仰の大盾であるが、ただ防いで耐えるだけでは能が無いので、攻撃の武器として御言葉の剣を取り、矢を射てくる元を攻撃して、沈黙させるべきである。

戦いの場は「思い」

罪への誘惑は「思い」に対する攻撃であり、エバはそうにして惑わされた。

私達も御言葉どおりでない別のイエスをのべ伝えられたり、異なった霊、異なった福音を受けたりする事によって思いが汚されることがある。(2コリント11:3, 4)

敵の誘惑方法は、まず「思い」の中に肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢という種を蒔き、それを掻き立ててて思いの内を膨らませ、肉を疼かせ、意思で決定するよう促し、結果罪の行動をさせる。(創世記 3 章) この「思い」の中に蒔かれた時点で対処しないと、後にはもっと対処が困難になる。

対処方法は2コリント 10:3-6 にある通り、全てのはかりごと(思い)を虜にしてキリストに服従させる事である。「今のこの思いはイエスキリストの名にふさわしいか？」と常に点検し、そうでなかったら敵が蒔いたものだから、キリストの名によって破棄し、どうしようもない程度虜にされてしまう前にキリストのこぼを豊かに満たす事である。

御言葉によって養われた者は、経験によって見分ける感覚を身につけられる。(ヘブル5:14)

サタンに嵌められて私達を攻撃してくる兄弟姉妹には

サタンにまんまと嵌められて私達を攻撃してくる兄弟姉妹には、柔和な心で正しい道に立ち帰らせ、彼らを憎むのではなく、自身も誘惑されないように自分に気をつけるべきである。(ガラテヤ 6:1)

兄弟姉妹を諭す場合は、まず二人だけの所で、聞き入れなければ複数人で、それでも聞かなければ教会が諭し、それでも聞き入れなければ異邦人として扱う、というのが順序である。(マタイ 18:15-20)

いきなり罪に定めて突き放すのは聖書的ではない。

忍耐を持ってその人の内にいる悪しき者を御言葉によって切り、主へと取り戻すべきである。

何よりも日々、「きょう」と言われている間に兄弟姉妹の間に互いに励まし合って、だれも罪に惑わされてたたくなにならないようにするべきである。(ヘブル 3:12,13)

見える兄弟姉妹ではなく、見えない敵であるサタンに対抗し、そのはかりごとを見抜き、戦って勝つ皆さんであるように、イエスの名によって祝福します！！

## 礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	コロサイ 3:1-11
賛美	感謝と喜びを (ppt 23)
使徒信条	会衆一同
交読文	49
賛美	主は御座におられる(ppt13)
メッセージ	何によって一つとなるか(ピリピ 2:1-11)
祈り	
賛美	セレブレイト・ジーサス(ppt19)
主の祈り	会衆一同
祝福の御言葉	会衆一同
Ⅱコリント13:11-13	パスター
報告	

## 祈り課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- 主に忠実な聖徒達が 30 名以上与えられるように

## 祝福の御言葉 空欄に障害となっている事を入れて祈りましょう

今、私に障害となっている \_\_\_\_\_ をご覧ください。この \_\_\_\_\_ は、イエスを主とした私に、侵入する事を、あなたがお許しにならなかった事です。ご覧ください。\_\_\_\_\_ が私にしようとしていることを。

\_\_\_\_\_ は、あなたが私に得させてくださった地から、私を追い払おうとして来ました。私たちの神よ。あなたはそれを裁いてくださらないのですか。私に立ち向かって来たこの \_\_\_\_\_ に当たる力は、私にはありません。

私としては、どうすればよいかわかりません。ただ、あなたに私の目を注ぐのみです。」(2歴代20:10-12)

あなたが私の代わりに \_\_\_\_\_ と戦って下さる事を、私の主・イエスキリストの名前によって宣言します！

アーメン！

「あなたがたは一致を保ち、同じ愛の心を持ち、心を合わせ、志を一つにしてください。(ピリピ 2:2)」  
「一致」「志を一つに」という言葉はキリスト教会においても頻繁に使われるが、誰かの考え方やイデオロギーを中心にして、人々を従わせるかのような誤解を招きやすい。  
キリスト教会に限らず、幾多の組織が、志を一つにして彼らの正義の名の下に人を支配し、それに逆らう者は攻め、殺して来た。

パリサイ人は自分達の神学を第一とし、それに同意しなければ追放し、神の子イエスさえ十字架につけた。志とは、私達の中にそうと置かれ、主から差し出された分に自発的に応答するものであって、人の議論や会議などによって導きだされるものではない。(ピリピ 2:13)  
天声教会では会議を開いた事が実は無いが、会議をする時は使徒 15 章のエルサレム会議のように、人の慣習や人の良かれと思われる事ではなく、あくまで主の御心、主のよかれを優先させるべきである。

## 人間の意見による一致の極み:バベルの塔

人々が主体となり、一丸となって構築した究極の建造物が、バベルの塔である。(創世記 11:1-9)  
「頂が天に届く塔を建て、名を上げよう」(創世記 11:4)という性質は、「私は天に昇ろう、いと高き方のようになろう」(イザヤ 14:13)というサタンの性質と、同じである。

バベルの町のトップに君臨していたのは地上で最初の権力者でもあるニムロデ(反逆者という意味)で、彼はシマルの地にバベル、エレク、アカデの王国を建てた。(創世記 10:8-10)

シマル(追放する、撒き散らす)の地はメソポタミア平原、すなわち後のバビロン、今のイラク地方に位置するが、この地は代々、神の民を誘惑し(ヨシュア 7:21)、神の国のものを奪って来(ダニエル 1:2)、罪悪が神殿に安置される所(ゼカリヤ 5:11)である。

私は幼い頃、人類歴史は何千年も続いているのにどうして平和が実現しないのだろう、文明が進歩し、国々の一致が進んだ将来なら、平和で殺し合いの無い人類になるだろうか、と考えていた。しかしそれはありえない事で、罪ある人々が一致して生み出すものは反逆、分裂、混乱である。

## 神の国で上に立つ者(マルコ 10:35-45)

ゼベダイの子達は野心を持ち、他の弟子達をさしおいて自分達を主の栄光の座の右、左に座らせて下さいと願ったが、主が示されたのは、主の杯と主の洗礼、すなわち、キリストのあかしの故の苦しみと死である。彼らは人の上に立って支配し、権力を振るいたかったし、それを聞いて憤った他の弟子達も、自分達は支配される側、こき使われる立場に立たされる事を思い、当然のように憤ったのである。

人々の間では支配者と見なされている人々が民を支配し、偉い人たちが権力を振るうものだが、天の御国の中では、皆に仕える者が偉く、すべての人の僕になる者がいちばん上の者である。(マルコ 10:43)  
イエス様は人々に仕えるため、人々を贖うため、人々の身代わりとなって罰を受けるために来た。つまり「自分を高く」できりょうな要素は微塵もなく、むしろ人のため、主のために仕え、犠牲となる事であり、それは人の生来の性質では決してできない。

私達のスタンスは、相手を自分よりも優れた者と考え(ピリピ 2:3-5)、キリスト・イエスの心を心とする(5節・文語訳)事であり、十字架の死に至るまで忠実であったイエスに習う事である。

## 主にある一致

すなわちピリピ 2:2 の心を一つにする、志を一つにするというのは、キリストの心と一つとなる、という事であり、キリストと一つとなる時、兄弟姉妹の間に和解と一致が生まれ、交わりは美しい調和によって保たれる。バベルの塔の呪いの逆は、ペンテコステに始まり、使徒達によって伝えられた福音であり、それは言葉の壁を越え、国、文化を越え、イエスという「ことば」を中心に、皆の心を一つにする。

私達が一つとなる事ができるのは、ただキリスト・イエスによるのみである。(コロサイ 3:9-11)  
人間的な主義主張、神学知識によるのではなく、イエスというお方によって一つとなれる皆さんであるように、イエスの名によって祝福します！！

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	ヨハネ 7:37-39
賛美	御名をかかげて (ppt 22)
使徒信条	会衆一同
交読文	35
賛美	主は御座におられる(ppt13)
メッセージ	なくならない食物、湧き上がるいのちの泉であるイエス
祈り	
賛美	その時若い女も(ppt26)
主の祈り	会衆一同
祝福の御言葉	会衆一同
Ⅱコリント13:11-13	パスター
報告	来週 21 日は収穫祭です。 収穫祭のための捧げ物を募集しております。

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- ・主に忠実な聖徒達が 30 名以上与えられるように

祝福の御言葉 空欄に障害となっている事を入れて祈りましょう

今、私に障害となっている\_\_\_\_\_をご覧ください。この\_\_\_\_\_は、イエスを主とした私に、侵入する事を、あなたがお許しにならなかった事です。ご覧ください。\_\_\_\_\_が私にしようとしていることを。

\_\_\_\_\_は、あなたが私に得させてくださった地から、私を追い払おうとして来ました。私たちの神よ。あなたはそれを裁いてくださらないのですか。私に立ち向かって来たこの\_\_\_\_\_に当たる力は、私にはありません。

私としては、どうすればよいかわかりません。ただ、あなたに私の目を注ぐのみです。」(2歴代20:10-12)

あなたが私の代わりに\_\_\_\_\_と戦って下さる事を、私の主・イエスキリストの名前によって宣言します！

アーメン！

メッセージ(礼拝説教)概要

世間一般の人が「キリスト教会」と聞くと、どういうイメージがあるだろうか。

教会では、お金や食べ物に困っている人を助けるといった「慈善活動」をする、あるいは、社会的弱者を擁護するために署名活動したり政治と戦ったりするような「社会活動」をする、あるいは、ゴスペルや外国語教室など「文化的活動」をする、といったイメージがあるかもしれない。

しかしそれら慈善・社会・文化的活動は副次的なものであって、本体ではない。

「教会はキリストの体であり、全てにおいて全てを満たしている方の満ちておられる場です。」(エペソ 1:23) 教会はキリストというお方を伝える事が本来的な役割であって、イエスキリストを中心とした生活をし、このお方を中心とした者達で交わるうちに、前述したような活動が、副産物として生まれてくるのである。

そういった副産物を求めて教会の門を叩くのは、福音に入る取っ掛かりとなるため大いに結構な事である。しかし、いつまでもそうした副産物を、ただ受けるだけの人、ただ与えるだけの教会は、本質を外している。人は何を教会から受け、教会は人に何を与えるべきなのだろうか。それは、キリストである。

主が5千人にパンを与える奇跡をした後、群集はイエスを探し出したが、その群集にイエスは「はっきり言うておく。あなたがたがわたしを捜しているのは、しるしを見たからではなく、パンを食べて満腹したからだ。朽ちる食べ物のためではなく、いつまでもなくならないで、永遠の命に至る食べ物のために働きなさい。これこそ、人の子があなたがたに与える食べ物である。父である神が、人の子を認証されたからである。」(ヨハネ 6:26,27)と言われた。

困って教会の門を叩く人々は、いつかのパンやお金、精神的な満たしなどを教会に求めがちであるが、そうした物はいつか使い果たしてしまうもので、あげてもらってもキリが無い。群集は「主よ、そのパンをいつもわたしたちにください」(6:34)と言ったが、主は「わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。」と言われた。教会は本来、肉体・精神・物質全ての満たしの根源であるお方、まことのパンなるイエス・キリストを提供すべきである。

人は本質的に、自分の事しか見ておらず、人が言っている事は中々理解できないものである。主の元に何かを求めて来る者は多いものの、主が私達に求めておられる事は聞かず、守らないものである。主は耳が聞こえず舌の回らない人を癒した際(マルコ 7:31-37)、彼を群集から隔離して、指を両耳に差し入れ、唾をつけてその舌に触れられ、天を仰いで「エッフアタ」(「開け」という意味)と言われ、癒された。主は群集にこの事を口止めしたが、口止めをされればされるほど、人々はかえってますます言い広めた。それ以前にも、主が口止めたのに言い広められて、公然と歩くこともできなくなってしまった事があった。主が口止めするのは「癒してもらえたぞ」「パンがもらえるぞ」と言った表面的な祝福、副産物だけを言い広める者に対してであり(マルコ 1:44)、主がどんなに憐れみ深いお方か、どんなに良いお方か、つまりキリストという「お方」を言い広める事は大いに勧めている。

主が癒しや開放の良きわざを為し、見えない人の目が開かれ、聞こえない人の耳が開き、口の利けなかった人が喜び歌うのは、イザヤ 35 章の預言の成就であった。その預言は、現代の私達に対しても成就するのであり、イエスを信じた者には、既に成就している。私達の人生がいかにか砂漠のように味気無く、花が無くて、花が盛んに咲く人生となり、あらゆる束縛は解放され、水の湧かない砂漠のような私達の心に対しても、主はエッフアタと言って下さり、永遠のいのちに至る泉が開き、いつまでもなくならないいのちの水がほとばしり出るようになる。

主イエスから「エッフアタ」と言っただき、祝福が開かれ、御言葉に対する耳が開かれ、賛美の口が開かれ、腹の底から生ける水が川々となって流れ出る皆さんであるように、イエスの名によって祝福します！

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	ヨハネ 4:35-38
賛美	シャイン・ジーサス・シャイン (ppt 21)
使徒信条	会衆一同
交読文	64
賛美	主に感謝せよ(ppt12)
メッセージ	種と実と収穫と(マルコ 4:26-29)
祈り	
賛美	感謝とよろこびを(ppt23)
主の祈り	会衆一同
祝福の御言葉	会衆一同
Ⅱコリント13:11-13	パスター
報告	礼拝後、捧げられている収穫物を感謝しつつ頂きましょう。

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- ・主に忠実な聖徒達が 30 名以上与えられるように

祝福の御言葉 空欄に自分の名前を入れて祈りましょう

蒔く人に種と食べるパンを備えてくださる方は、\_\_\_\_\_にも蒔く種を備え、それをふやし、\_\_\_\_\_の義の実を増し加えてくださいます。

\_\_\_\_\_は、あらゆる点で豊かになって、惜しみなく与えるようになり、それが私たちを通して、神への感謝を生み出すのです。

なぜなら、この奉仕のわざは、聖徒たちの必要を十分に満たすばかりでなく、神への多くの感謝を通して、満ちあふれるようになるからです。(2コリント9:10-12) 兄弟たちよ。それと同じように、\_\_\_\_\_も、キリストのからだによって、律法に対しては死んでいるのです。それは、\_\_\_\_\_が他の人、すなわち死者の中からよみがえった方と結ばれて、神のために実を結ぶようになるためです。(ローマ7:4)

\_\_\_\_\_の主・イエスキリストの名前によって宣言します！  
アーメン！

メッセージ(礼拝説教)概要

神の国のたとえ(マルコ 4:26-29)

神の国(バシレイア トン セオウ)は、一定の国ではなく、神の統治領域であり、「神が王であること」である。それ故「神の国」は、神の支配が行き届いているまさに人間の中にあり、そのような人がいる場所や集会、経営する会社なども含まれる。この箇所では、神の国は土に種を蒔いたものようであると書いてあるが、種はどのように育つだろうか。夜昼、寝起きしているうちに、種は芽を出して成長するが、どうしてそうなるのか、その人は知らないし、仕組みは知らなくても良いし、理解する必要も無い。種が育つための必要条件是、「種が蒔かれている状態にある事」(スポロス)である。そうれば種はおのずと成長していくものであり、そこには人間の働く余地はない。

蒔かれた状態にある種の方

「スポロス」は蒔かれた状態にある種を意味するが、その他にも、人を援助できる資力という意味もある。人を助けたり御霊の実を結ばせたり、神の国を成長させるためには、「蒔かれた種」である事が大切である。太陽と雨の恵みを受けていれば何の苦労も無く自然すぎるほど自然に実を結ぶものである。神から産まれた人は、神の種が宿っているから罪を犯さない。(1ヨハネ3:9、10) 罪も犯したとしても、神の種が宿っているなら、罪を犯し続けるということではできないのは、神の種が宿ってから、罪を犯し続ける苦しくなるのである。それに対し、悪魔の子達は罪を犯し続けても何とも無く、正しい生活を続けられない。たとえ神を信じると言っても、兄弟を訴え続けたり、分裂を促したりしているようでは、神の種が宿っているとは言えない。

世の始まる前から隠されていた奥義

神の国のたとえは、世の始まる前から隠されていた奥義であると主は語った(マタイ 13:35)。目に見える種、実、土は、全て目に見えない世界の写しであり、成長する種蒔きのたとえは、世の始まる以前から隠されていた奥義である。1ヨハネ3:9に出てくる神の種「スペルマ」は種、精子を意味し、子孫という意味もある。神の種が蒔かれるというのは、男性が女性に精子を植えるのに似ている。「アブラハムとその子孫に対して約束が告げられましたが、その際、多くの人を指して「子孫たちとに」とは言われず、一人の人を指して「あなたの子孫とに」と言われています。この「子孫」(スペルマ)とは、キリストのことです。」(ガラテヤ3:16) つまり、「人類」という土地に、ひとつのスペルマが蒔かれた。それがイエスキリストであり、それによって新しいのち、すなわち永遠のいのちが生まれ、育ち、良き実を結ぶ。そしていざれば、まことの夫であるキリストは、まことの花嫁である教会をめとり、二人は一体となって永遠に生きるのである。神が人を男と女とに造られたのも、種を結ぶ実を創られたのも、天の形を世において示すためだ。

結ぶ実 - 御霊の実

神の種を植えられた人は、以下の良き実を結び、より健やかに、より豊かになって行く。「霊の結ぶ実には愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制です。」(ガラテヤ5:22、23) それらの良き実には収穫の時に天の倉に納められ、永遠に残る。悪い種によって生った実には永遠に消えない火の中に投げ込まれる。実には色々な色、形、大きさ、味、効用があるように、人それぞれが結ぶことの出来る実もバラエティに富、それぞれ違うが、いずれも主イエスの素晴らしさを表現し、父なる神の栄光を現する。みことばに留まり、豊かな実を結び、収穫の時に主にたくさんの良き実を捧げられる皆さんでありますように、イエスの名によって祝福します！



## 礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	イザヤ 8:22-9:2、9:6-7
賛美	さあ賛美しよう(ppt 32)
使徒信条	会衆一同
交読文	48
賛美	諸人こぞりて(韓日讃頌歌115番)
メッセージ	二組の夫婦(ルカ 1:26-38、マタイ 1:18-25)
祈り	
賛美	シャインジーサスシャイン(ppt21)
主の祈り	会衆一同
祝福の御言葉	会衆一同
Ⅱコリント13:11-13	パスター
報告	早天礼拝メッセージの音声 CD 販売を始めました。 1枚3,4日分のメッセージで200円、6枚で1000円です。

## 祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- ・主に忠実な聖徒達が30名以上与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

## 祝福の御言葉 空欄に自分の名前を入れて祈りましょう

主は仰せられた。

「必ず私は\_\_\_\_\_を解き放って幸せにする。

必ず私は、わがわいの時、苦難の時に敵が\_\_\_\_\_にとりなしを頼むようにする。

もし\_\_\_\_\_が卑しいことではなく、尊いことを言うなら、\_\_\_\_\_は私の口のようになる。

私は\_\_\_\_\_を、堅固な青銅の城壁とする。

彼らは\_\_\_\_\_と戦っても勝てない。私が\_\_\_\_\_と共にいて\_\_\_\_\_を救い\_\_\_\_\_を助け出すからだ。

\_\_\_\_\_の主・イエスキリストの名前によって。 アーメン！

クリスマスが近づくと世間は華やいで来るが、クリスマスの主人公についてはあまり知られておらず、救い主の誕生の次第も、主が目を留められるのも、クリスマスイメージのようなキラキラと輝いたものではない。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、読めば簡単に流してしまうこの一文には、マリヤとヨセフの言語を絶する記憶と日々が含まれているのだ。この夫婦を見る前に、彼らと対照的な夫婦であるアダムとエバを見てみたい。

エバは御言葉よりも感覚を優先し、目に良く、肉に良く、賢くしそうな禁断の実を取って食べたばかりでなく、夫にも与えて堕落させた。アダムは御言葉よりも妻の言葉を優先し、堕落へ引きずり込まれ、後には「エバのせいで」と、妻を攻め、突き放つ発言をした。人類最初の夫婦はこのようにして人類に罪と死を導入してしまったが、救い主を生み出し永遠のいのちを人類に導入した夫婦はどうであったか。

ある日突然マリヤに御使いが現れ、身籠って永遠の王を生むという事を告げ知らされる。(ルカ 1:26-38) 彼女は貧しいながらもささやかな幸せが約束されている身であったはずであったが、結婚前の乙女が身籠る事には当然周りの追及があるだろうし、何より夫ヨセフがどう反応するか、大いに懸念された。しかし彼女は、御使いとやりとりする僅かな時間の間に、大胆な決心をし、「おことばのおりになるように」と言っ神のこことばを受け入れ、世間の目も生活も明らかに苦しくなるであろう道を、あえて選んだ。

「ヨセフは正しい人であったので、マリアのことを表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した。(マタイ 1:19)」

知らぬ間に身籠った婚約者である。公に離縁すれば、周囲は当然同意するであろうし、既に払った花嫁代は返済してもらい、別の女性と結婚をやり直す事もできたろうが、彼が選んだのは、ひそかな離縁だった。律法に従えば、結婚前に姦淫を犯した女は石打、それを免れたとしても、マリヤは姦淫による子持ちの女として、再婚も叶わない苦しい人生を送っていかなくてはならない。

ヨセフは彼女を愛したが故に苦しんだが、真実であろうとしたが故に、ひそかな離縁を選択したので。そんな思い悩んでいる所へ、御使いが夢に現れ、「**ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。**」(マタイ 1:20,21)と告げられる。

ヨセフは主が仰せられたが故に、言葉どおりに彼女を迎え入れ、ユダヤ社会から「結婚前に身籠った夫婦」と後ろ指をさされる冷ややかな一生をあえて選び、主の約束された救い主を育てる栄誉を勝ち取った。彼は真実に基づく愛をフル稼働し、忍耐し、情け深く、妬まず、自分の利益を求めず主の約束を望み、耐えたため、主イエスの養父という、古今東西唯一の栄誉を任せられたのである。(1コリント 13:4-7)

アダムとエバが守り通せなかった御言葉を守り通し、判断を目・肉・暮らし向きへの欲求には置かず、御言葉に委ね、そうしてマリヤは従順によって救い主を宿し、ヨセフは愛と真実によってマリヤと救い主を守った。マリヤもヨセフも立派であったが、神はなぜよりによって、貧しく目立たないこの二人を選んだのか。

「**私達の聞いたことを、誰が信じえようか。主は御腕の力を誰に示されたことがあるか。**」(イザヤ 53:1) 救い主のおとずれを、王宮や神殿ではなく、異国の占星術師や夜番をしている羊飼いに示し、主が旅先の馬小屋で産まれた、その事が、神は何を選び、大事にされるのか、という価値基準を示している。人が目に留めないもの、人に尊重されないもの、見過ごしてしまうようなつまらないものにさえ、主は目を留め、養って下さる。

マリヤが喜び歌ったように(ルカ 1:46-55)、救い主を宿し、育み、どの時代の人々もしあわせだと思ふような皆さんでありますように、主イエスの名によって祝福します！

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	イザヤ 8:22-9:2、9:6-7
賛美	諸人こぞりて(韓日讃頌歌115番)
使徒信条	会衆一同
交読文	56
賛美	牧人ひつじを(韓日讃頌歌123番)
メッセージ	星に導かれて(マタイ 2:1-12)
祈り	
賛美	イエスは勝利をとられた(ppt20)
主の祈り	会衆一同
祝福の御言葉	会衆一同
Ⅱコリント13:11-13	パスター
報告	24日 21時よりクリスマスイブ礼拝を行います。

祈祷課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- 主に忠実な聖徒達が 30名以上与えられるように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉 空欄に自分の名前を入れて祈りましょう

神は、みこころのままに、\_\_\_\_\_のうちに働いて志を立てさせ、事を行なわせてくださるのです。

すべてのことを、つぶやかず、疑わずに行ないなさい。

それは、\_\_\_\_\_が、非難されるところのない純真な者となり、また、曲がった邪悪な世代の中であって傷のない神の子どもとなり、

いのちのことばをしっかりと握って、彼らの間で世の光として輝くためです。そうすれば、\_\_\_\_\_の努力したことがむだではなく、苦労したこともむだでなかったことを、キリストの日に誇ることができます。(ピリピ 2:13-16)

\_\_\_\_\_の主・イエスキリストの名前によって。 アーメン！

「私達は東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」(マタイ 2:2)

「博士達」(口語訳)は原文は「マゴス」、ペルシャ系祭司で占星術を行っていたと考えられており、イスラエルの神が忌み嫌うはずの者達である。

彼らは、新しく生まれたイスラエルの王を求めて来たが、本来、ユダヤ人こそそれを知っていなければならないはずであるのに、誰も知らなかったばかりか、それを聞いた者達は不安を抱き、王ヘロデにいたっては、拜んで行くかのように見せかけつつ、殺そうとさえ企んだ。色々と不思議に見えるが、これは当時の時代背景と、ヘロデ大王がどういう人物かを見れば納得が行く。

ヘロデ大王はユダヤ人ではなくエドム人で、巧みな政治手腕によってローマ元老院に取り入り、エルサレム神殿の大改修を行う事でユダヤ人の歓心を買ったが、冷徹で残酷な面もあり、彼の王座を脅かす者は自分の妻であろうと子であろうと処刑し、反対する祭司やレビ人達も多く処刑された。王の宮殿は、彼に追従し取り入ろうとする者達によって満ち、王にとって利益を出す者が重んじられ、役に立たない者や反対する者は阻害され、権謀術数が渦巻き、誰が敵で誰が味方か分からない疑心暗鬼に満ちた場であった。王で居たい者にも、それにぶら下がる者達にとっても、新しい王など居てもらっては困るのである。

主が来られる時、人々の心は冷たくなり、非常に生きづらい世の中となり、本来こぞって迎えなくてはならないはずの者達は、生き残るための策略に忙しく、中にはメシヤさえも殺そうと計る者さえ出てくる。そんな中であっても、導かれる者は確実におり、それは神から最も速いと思われる人かも分からない。忌み嫌われるはずの占星術師達は、メシヤを拜むために、はるばる遠い東の国から来た。イスラエルの嫌う邪悪なニネベの住民はヨナの説教によって悔い改め、南の女王はソロモンの知恵を聞くために地の果てから来た。裁きの時、ニネベの住民や南の女王が、そして、東方の占星術師達も、イエスを受け入れない者やイエスを排斥した者達を罪に定めるのである。(マタイ 12:42)

エルサレムを出た彼らはベツレヘム(パンの家)へ向かったが、頼りとなるのは再び星だけになってしまった。しかしなんと、星が先立って進み、幼子のいる場所の上に止まった。この星が何であったのか、彗星説、変光星説、惑星会合説、超新星説など色々あるが、いずれにせよ、星が少数の人々のために動くというのは、地球が逆回転するよりもスケールの大きな不思議である。神はそのスケールの大きい不思議を、博士達を幼子のおられる家へと導くために、やっつけのけたのである。彼らが、はなはだしく大きな喜びを喜んだ(直訳)のは、彼らが日頃見て研究していた星々さえも支配する偉大な方が、彼ら自身に直接関わり、スケールの大きな助けを彼ら自身に向かって為して下さったから。主の目から見れば嫌われるかのように見えても、またどんなに邪悪な世代の中にあつたとしても、そして、どんな策略が計られたとしても、主を求める者達には、宇宙規模の助けによって導いて下さる。そのしるしは王宮にいる者たちには見られなかったし、知られもしなかったが、神は、御心に留められた者達に、人知れず大いなる助けを、導きを、示して下さるのである。

「家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。」(マタイ 2:11) 彼らは時間と労力、大切な宝物を捧げるだけで、物としては何も得なかったが、宇宙規模の素晴らしい体験をした。礼拝とは良き物をいただく事ではなく、自分の良きものを捧げる事である。メシヤを求める一人一人が、策略と疑いに満ちた世から脱出し、大いなる不思議によってメシヤの元へと導き出され、まことの礼拝を捧げる事ができますように。

御言葉	マタイ 2:1-8
祈り	
使徒信条	会衆一同
御言葉	マタイ 2:9-11
聖徒一人一人による	聖句と賛美のささげもの
メッセージ	民全体に与えられる大きな喜び(ルカ 2:8-20)
祈り	
賛美	荒野のはてに(韓日讃頌歌125番)
賛美	きよこのよる(韓日讃頌歌109番)
御言葉	ルカ 2:8-14
Ⅱコリント13:11-13	パスター

### 祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- ・主に忠実な聖徒達が 30 名以上与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

### 御言葉(ヨハネ 1:1-14 注:ロゴスである「言」を「ことわり(理)」としました)

初めに、ことわりがおられた。ことわりは、神と共におられた。ことわりは、神であられた。このことわりは、初めに神と共におられた。万物はことわりによって成った。成ったもので、ことわりによらずに成ったものは何一つなかった。ことわりの内に、命がおられた。命は人間を照らす光であられた。光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。神から遣わされた一人の人がいた。その名はヨハネである。彼は証しをするために来た。光について証しをするため、また、すべての人が彼によって信じるようになるためである。彼は光ではなく、光について証しをするために来た。その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。ことわりは、世におられた。世はことわりによって成ったが、世はことわりを認めなかった。ことわりは、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった。しかし、ことわりは、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。この人々は、血によってではなく、肉の欲によってではなく、人の欲によってでもなく、神によって生まれたのである。ことわりは肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。

### メッセージ(礼拝説教)概要

キリストの誕生は、天においても地においても歴史を転換するほどの一大事である。西暦の BC (Before Christ) はキリスト生まれる前、AD (アノドミニ) は主の恵みの日々という意味であり、キリストを知らない人と言えども彼の影響は確かに日々受けている。この大なる出来事の日、天の使者が使われた場所は人が好き好んで行かないようなベツレヘム近辺の野原であり、告知知らされた人々は、住民登録時に住民としてカウントされもしないような、羊の群れを見守っていた羊飼いや達であった。

御使いは「民全体に与えられる大きな喜びを告げる。」と言った。喜びの知らせの対象は、民全体に、である。それならば、現代で言う所の国会や大統領執務室などから、テレビ局や新聞社のような人々に告げれば良いものを、なんと無名で、臭く汚い、信用度の低い、少数の羊飼いや達にのみ、知らされたのである。ここに、主がどのような者を選び、大事にされるのか、という価値基準が示されている。有名な者ではなく無名な者に、力ある者ではなく弱い者に、パブリックではなくプライベートに、主は関わるのである。そのやり方は人の目には愚かに写るかもしれないが、神はあえて、弱く貧しい人間の、宣教という愚かな手段によって信じる者を救おうと、お考えになったのである。(1コリント 1:21) 「神は知恵ある者に恥をかかせるため、世の無学な者を選び、力ある者に恥をかかせるため、世の無力な者を選ばれました。また、神は地位のある者を無力な者とするため、世の無に等しい者、身分の卑しい者や見下げられている者を選ばれたのです。それは、だれ一人、神の前で誇ることがないようにするためです。」(1コリント 1:26-29)

そんな弱く無名な者達に、主はどのように現れて下さるのであろうか。それは、天の大軍勢によってである。御使いは、立派な男が死ぬほど恐れ震え上がるほど恐ろしい。それが、そこの羊飼いや達や羊達よりもはるかに多い軍勢を成し、彼らに現れたのである。御使いはまず「恐れる事はありません」と声をかけてくださった。主に繋がっている私達は、恐ろしい威厳ではなく、御使いや達の大祝会に近づいているのだ。それは何のおかげか。ひとえに新しい契約の仲介者イエスの血、アベルの血よりもすぐれたことを語る注ぎかけの血によってである(ヘブル 12:21-24)。主の使いは、主を恐れる者の周りに陣を張り、助け出される(詩篇 34:7)。実は、この教会にいる私達よりも、はるかに多くの御使いや達を取り囲んで、私達を見守っているのだ。

御使いは私達に、何を告げ知らせるのであろうか。それは大きな喜び、すなわち救い主の誕生である。「布にくるまって飼いや葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つける」(ルカ 2:12) 聖なる御使いやが言うには、私達の救い主はなんと、馬の餌箱の中で見つかる、と言うのである。キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にし、僕の身分になり、人間と同じ者になられ、へりくだって十字架の死に至るまで従順だったため、神はキリストを高く上げた。それは天上、地上、地下のものが全てイエスの御名にひざまずき、すべての舌が、「イエス・キリストは主である」と公に宣べて、父である神をたたえるのである。(ピリピ 2:6-11) 世の始まる前からおられ、人の近づく事にできない聖なる光の内に住まわれるお方が、卑しい者達の間に、それも、汚い馬の餌箱の中に宿られた。これは大なる驚きであると共に、私達にとっては大なる救い、喜びでもある。救い主の生誕を祝うこの日、私達に届くほど低くへりくだられた主を覚え、感謝したい。

## 礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	箴言 3:5-12
賛美	シャイン・ジーサス・シャイン(PPT 21)
使徒信条	会衆一同
交読文	20
賛美	満たして下さる方(PPT 5)
メッセージ	預言者と家族を養うには(1列王記 17:8-16)
祈り	
賛美	イエスは愛で満たす(PPT 6)
主の祈り	会衆一同
祝福の御言葉	会衆一同
Ⅱコリント13:11-13	パスター
報告	31日 21時より年越し礼拝を行います。

## 祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- ・主に忠実な聖徒達が 30 名以上与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

## 祝福の御言葉 空欄に自分の名前を入れて祈りましょう

この世で富んでいる人々に命じなさい。高慢にならず、不確かな富に望みを置くのではなく、わたしたちにすべてのものを豊かに与えて楽しませてくださる神に望みを置くように。(1テモテ 6:17)

神は、みこころのままに、\_\_\_\_\_のうちに働いて志を立てさせ、事を行なわせてくださるのです。すべてのことを、つぶやかず、疑わずに行ないなさい。それは、\_\_\_\_\_が、非難されるところのない純真な者となり、また、曲がった邪悪な世代の中であって傷のない神の子どもとなり、いのちのこぼれをしっかりと握って、彼らの間で世の光として輝くためです。そうすれば、\_\_\_\_\_の努力したことがむだではなく、苦労したこともむだでなかったことを、キリストの日に誇ることが出来ます。(ピリピ 2:13-16)

\_\_\_\_\_の主・イエスキリストの名前によって。 アーメン！

世の中は不況の嵐が吹き荒れており、経済的・社会的状況はますます厳しくなるであろう。天においても地においても人の間においても、終末のしるしが現れ、明らかに艱難の時代に突入している。にもかかわらず、私達は行き詰まる事無く守られており、とうの昔に倒れてもおかしくない者が不思議な導きによって守られ、ある者は事業が祝福され、当教会の活動も昨年に比べ遥かに活発に祝福されている。鄭先生が滞在最後の早天礼拝で、不況の時代に打ち勝つ信仰と題して、エリヤとやもめの話をされたが、この1年、私達はエリヤとやもめのように、粉も油も尽きず、養われてきた。2010年締めくくりの主日として、この個所からメッセージしたい。

困難な時代になったのは、国の指導者たちの誤った舵取りのせいだと100%言い切れるものではなく、一人一人の選択と行動の集大成であり、それぞれの罪の結果である。政治が悪くなるのは、選挙権を軽んじて政治に参加しない者達によるのであり、日本人の全体的な品性が欠落して来たのも「これだから日本人は」と日本人自身を貶めている者達の意識の集大成による。エリヤの時代のイスラエルも同じ状況で、アハブ王はシドン人の王の娘イゼベルを妻に迎え、異教の神バアルに仕えた事によって、イスラエルの進むべき道から外れ、誤った判断と行動をし、そのため「数年の間、露も降りず雨も降らないであろう。」という御言葉が成った。

王の過ちによって、イスラエルだけではなく周辺の国シドンまでも雨が降らず旱魃となり、アハブ王一人のためにあおりを食らっているかのように見えるが、必ずしも彼一人のせいとは言いきれない。イスラエルの民はどっちつかずによろめいており、エリヤにどちらの神につくかはっきりするように言われても何も答えられない状況だった(1列王記 18:21)。また、イスラエルには多くのやもめがいたが、エリヤはその中のだれのもとにも遣わされず、イゼベルを生み出したシドンの国サレプタのやもめの元にだけ遣わされた(ルカ4:25)。それは、実に、イスラエルの中には預言者を敬う者もその素養がある者も、一人もいなかったからである。サレプタのやもめはエリヤに声をかけられた時「あなたの神、主は生きておられます。」と言ったのは、イスラエルの神を認め、敬い、預言者を敬う素養があったからであり、その素養に神が目を留めたのである。

神は「一人のやもめに命じて、そこであなたを養わせる。」と言ったが、果たして彼女はそのような自覚があっただろうか？ 彼女がエリヤに神が言われた通りの事を成したのは、主から与えられた信仰によるのであり、神は私達の内にも働いて御心のままに望ませ、行わせておられる。(ピリピ 2:13)

最後の食料を「まず私に与えなさい」と言うのは、非常識で過酷な要求であるが、御言葉という根拠がある。「主が地の面に雨を降らせる日まで壺の粉は尽きることなく、瓶の油はなくなるらない。」(17:14)という御言葉に彼女は信仰によって応じたため、彼女だけでなく、預言者も、家族の者も、それによって養われた。非常識で過酷な要求をする預言者には要注意だが、非常識で過酷な御言葉に従うのは大いにトクである。

働き人は、赤貧の者よりも金持ちに、人数の少ない所よりも多い所に、カッコ悪い所よりもカッコイイ所に遣わされたいと思うかもしれないが、主の選びは、主を知らない物持ちでは決して無く、信仰を持つ者である。例え、持ち物が一握りの粉とわずかな油であっても、自分自身と預言者、家族を養うことができるのである。この一年、この教会が守られたのは、一人一人が御言葉を聞いて、信じてその通り行ったからであり、預言者など誰か一人特別な者のおかげではない。家族や預言者を長きに渡って養うコツは、信じて行う事であり、召し出された者達一人一人がその召しに応じて働く事である。自身と働き人を末永く養う、油も粉も尽きない皆さんでありますように、主イエスの名によって祝福します！